

避難者アンケート調査 集計結果

平成28年10月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

目 次

I 調査の概要

- 1 調査の目的 - 1 -
- 2 調査項目 - 1 -
- 3 調査設計 - 1 -

II 調査結果

【回答者について】

- 回答者の性別、年齢、避難先の市町村 - 2 -

1 世帯の現状について

- (1) 避難元の県・市町村、避難の理由 - 3 -
- (2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類 - 4 -

2 山形での生活について

- (1) 「困っていること、不安なこと」について - 7 -
- (2) 生活資金について - 8 -
- (3) 避難者支援に関する情報の入手について - 9 -

3 今後の生活について

- (1) 今後の予定について - 11 -
- (2) 避難期間の見通しと帰還について - 11 -
- (3) 山形県内への定住について - 13 -

4 住民票について

- 住民票の山形県への異動及びその理由について - 16 -

5 心身の健康について

- (1) 心身の不調について - 17 -
- (2) 健康の相談相手について - 18 -
- (3) 心身の健康に関する要望について - 19 -

6 教育や子育てについて

- (1) 教育や子育てで困っていることについて - 20 -
- (2) 子育ての相談相手について - 21 -
- (3) 教育や子育てに関する要望について - 22 -

7 就業・就職について

- (1) 就業状況、転職・就職の希望について - 23 -
- (2) 県内の就職で困っていることについて - 24 -

8 県内で行っている避難者支援事業について

- (1) 山形県内での支援に対する評価 - 25 -
- (2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について - 26 -
- (3) 県内での避難者への支援として期待するもの - 27 -
- (4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入） - 28 -

9 自由記入欄

- (1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと - 28 -
- (2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと - 28 -
- (3) その他、避難生活で感じていること - 28 -

III 参考資料

アンケート調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

東日本大震災から5年半が経過しましたが、現在も約3千人の方々が本県での避難生活を余儀なくされています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として実施しました。

2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 住民票について
- (5) 心身の健康について
- (6) 教育や子育てについて
- (7) 就業・就職について
- (8) 県内で行っている避難者支援事業について

3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている1,083世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (4) 調査期間 : 平成28年8月下旬～9月中旬
- (5) 集計数 : 342件 (回収率: 31.6%)

※参考 平成27年度は1,291世帯に送付し、回収は445件(回収率34.5%)

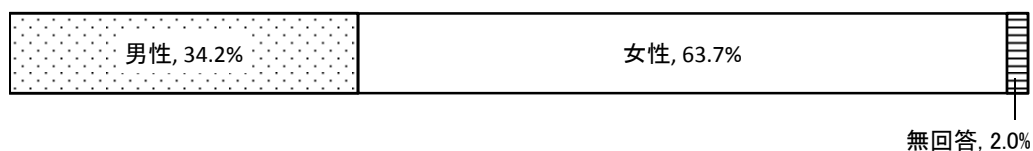
※ 注意点

- (1) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 一つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。

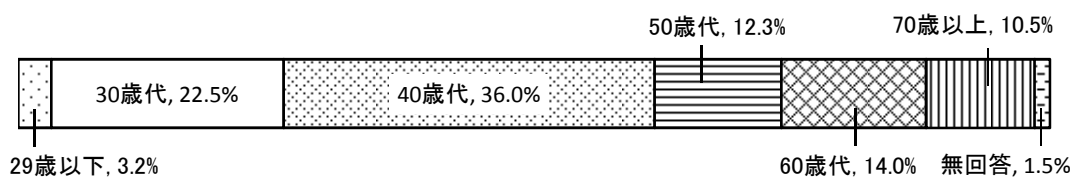
Ⅱ 調査結果

【回答者について】

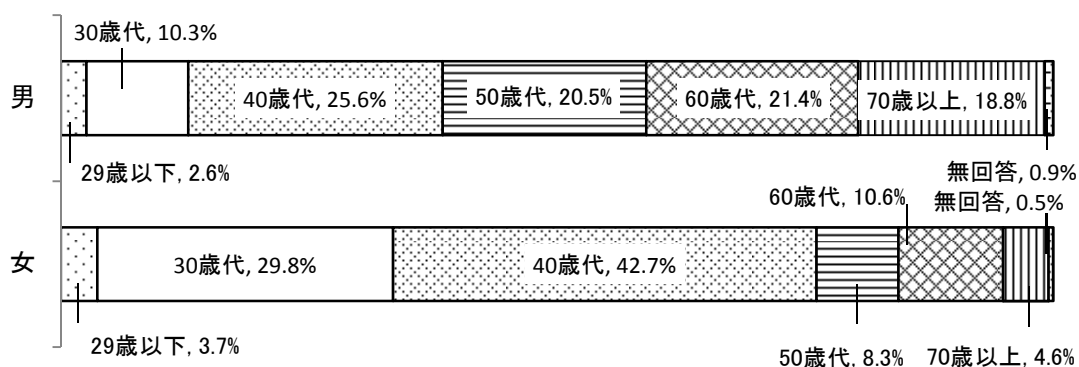
性別



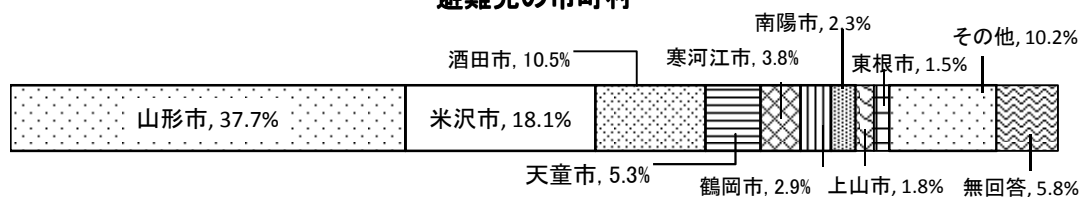
年齢



男女別年齢



避難先の市町村



回答者の性別は、男性が 34.2%、女性が 63.7%となっています。

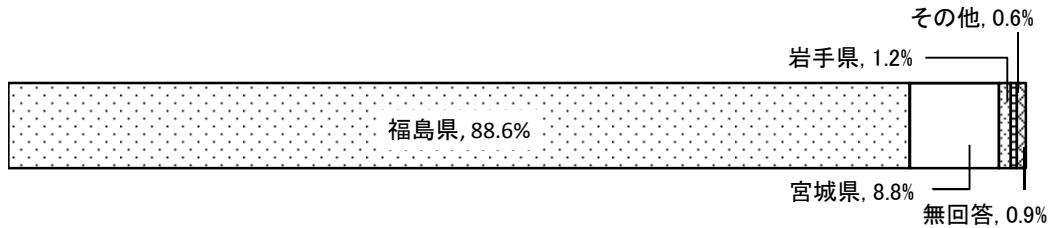
年齢別では多い順から、40歳代 36.0%、30歳代 22.5%、60歳代 14.0%で、男性は 50歳以上が 60.7%となっているのに対し、女性は 30歳代と 40歳代で 72.5%となっています。

避難先の市町村は、山形市が 37.7%と最も多く、次いで米沢市、酒田市、天童市の順となっています。

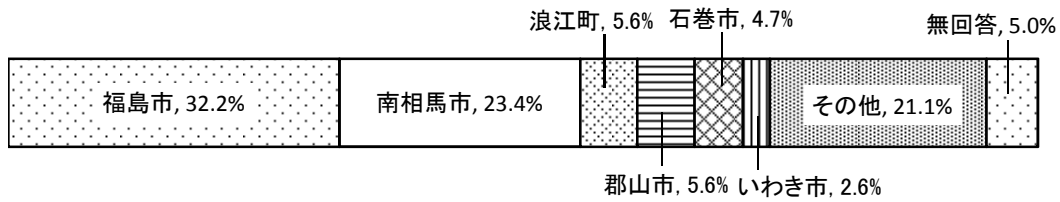
1 世帯の現状について

(1) 避難元の県・市町村、避難の理由

避難元の県

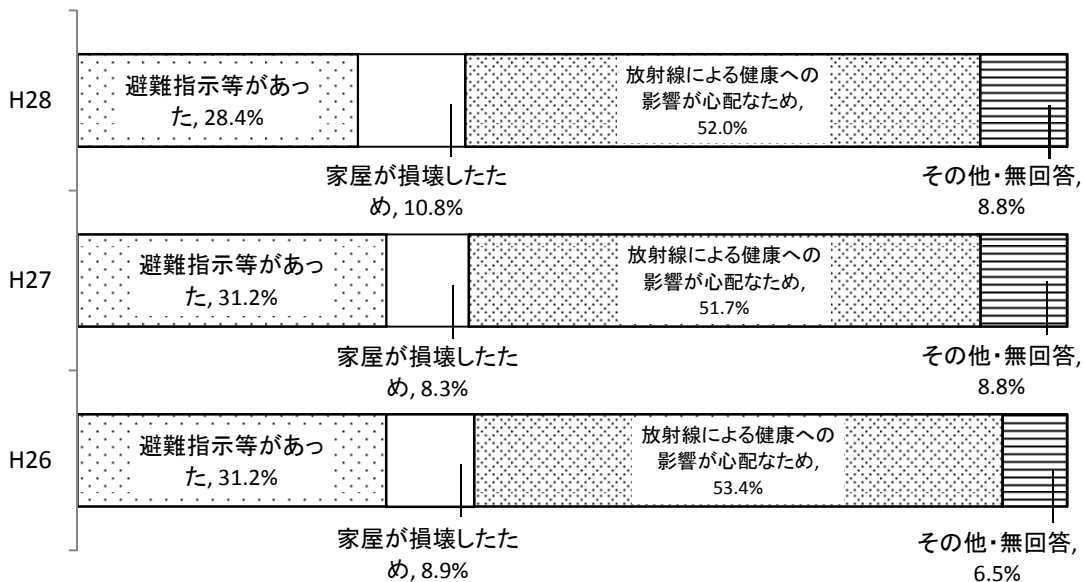


避難元の市町村



避難元については、福島県が 88.6%、宮城県が 8.8%でした。市町村別では、福島市、南相馬市、浪江町、郡山市、石巻市、いわき市の順となっています。

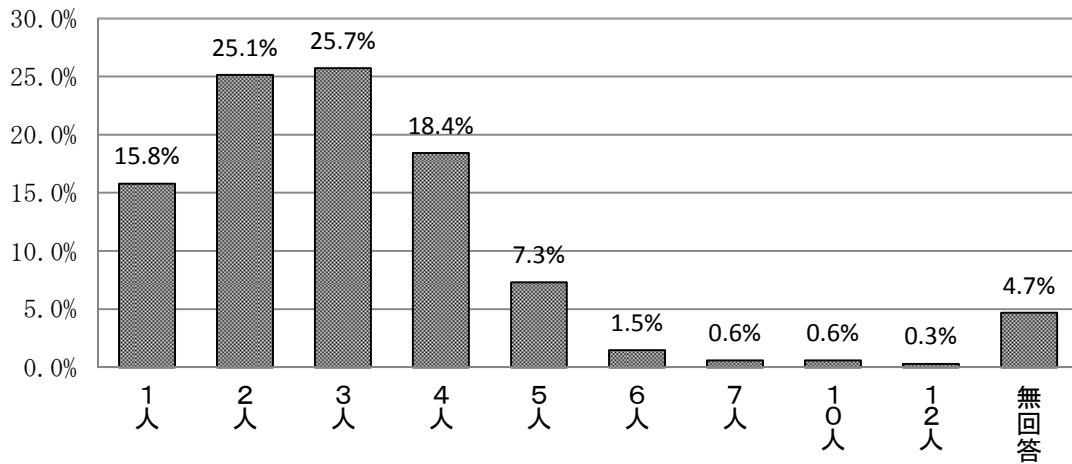
避難の理由



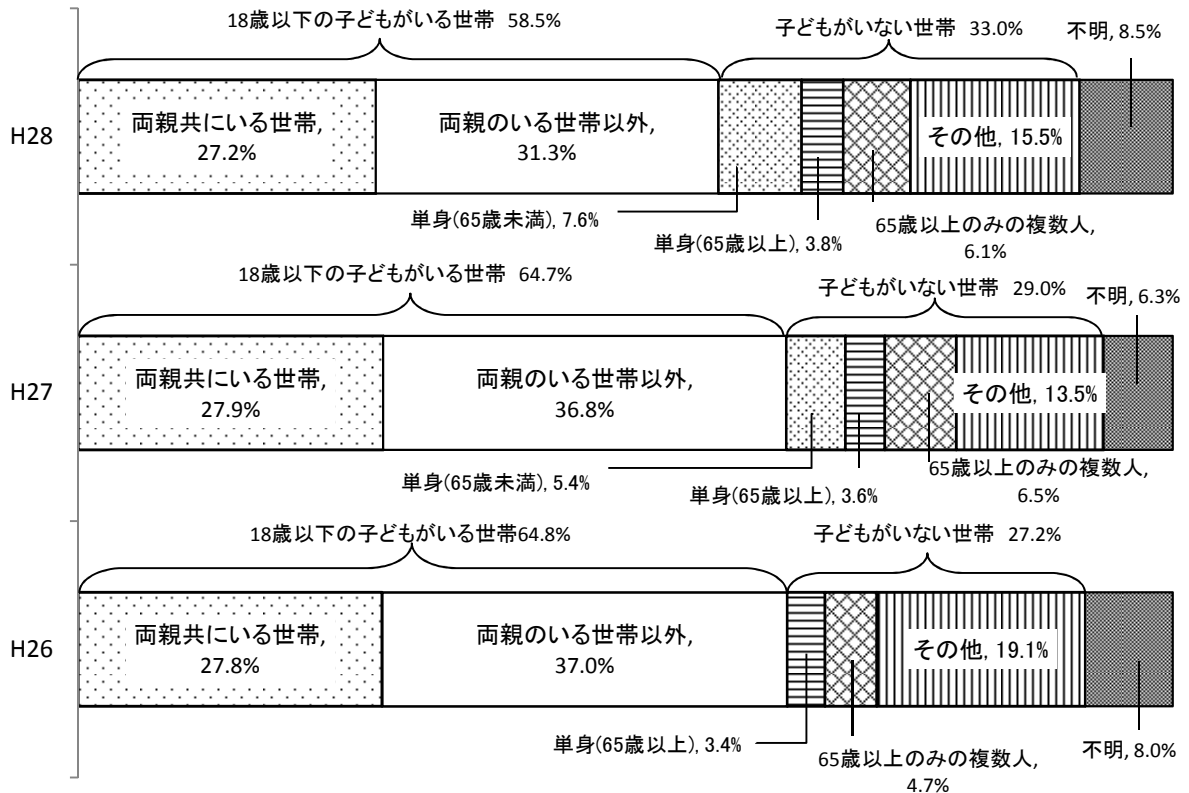
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が 52.0%で依然として半数を超えています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

家族の人数

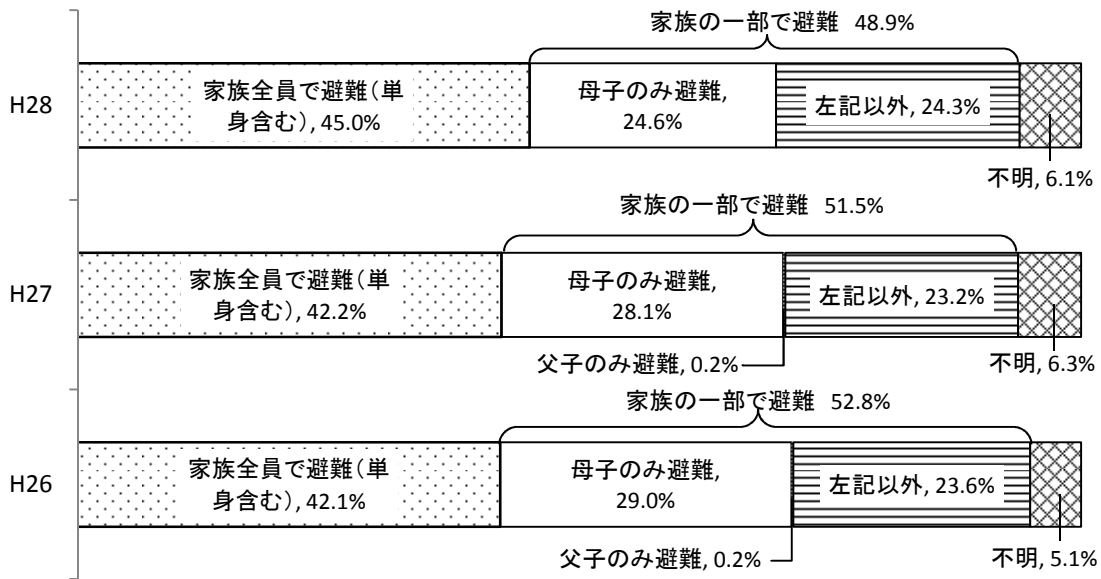


家族の構成

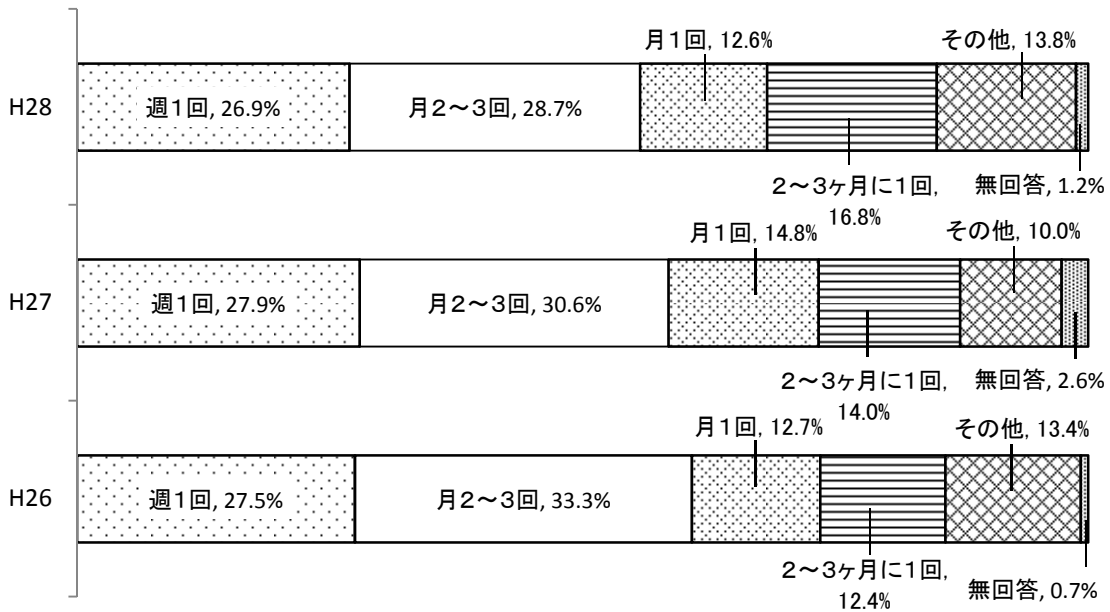


家族の構成は、子どもがいる世帯は58.5%、子どもがいない世帯は33.0%となっています。65歳未満の単身世帯は7.6%、65歳以上の高齢者のみの世帯は単身世帯と複数人世帯を合わせて9.9%となっています。

避難の状況



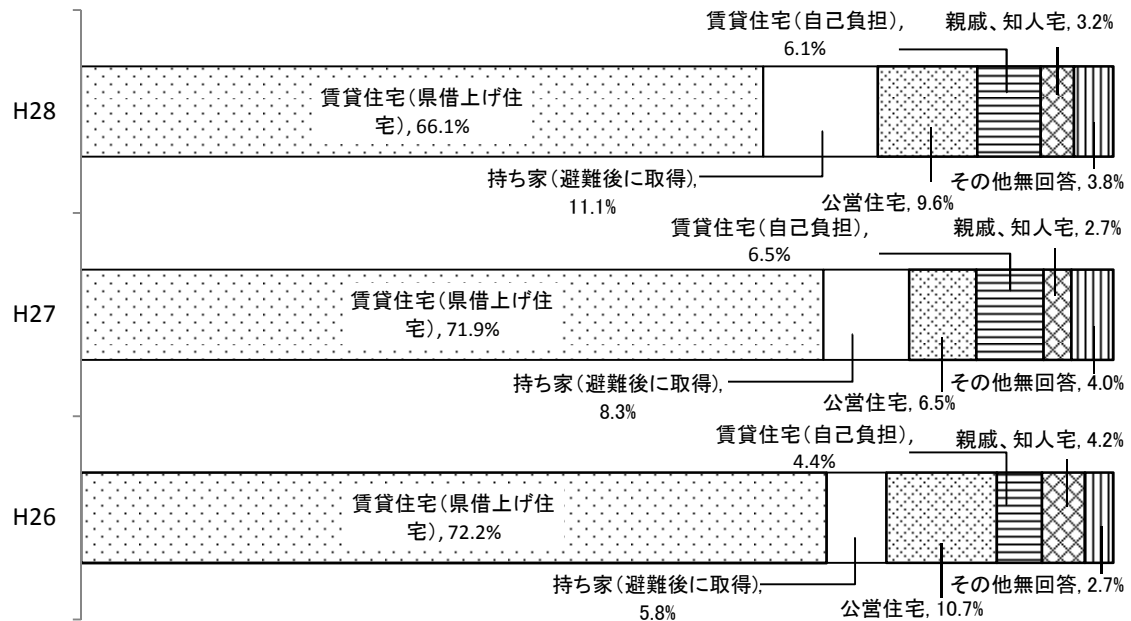
避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)



避難の状況は、家族全員で避難している世帯が45.0%、家族の一部で避難している世帯が48.9%となっており、母子のみで避難している世帯が全体の24.6%で、その割合は年々低下しています。

家族と会う頻度は、週1回会う方の割合はほぼ横ばいですが、月2～3回会う方の割合は年々低下し、2～3箇月に1回会う方の割合が年々高くなっています。

避難している住宅の種類

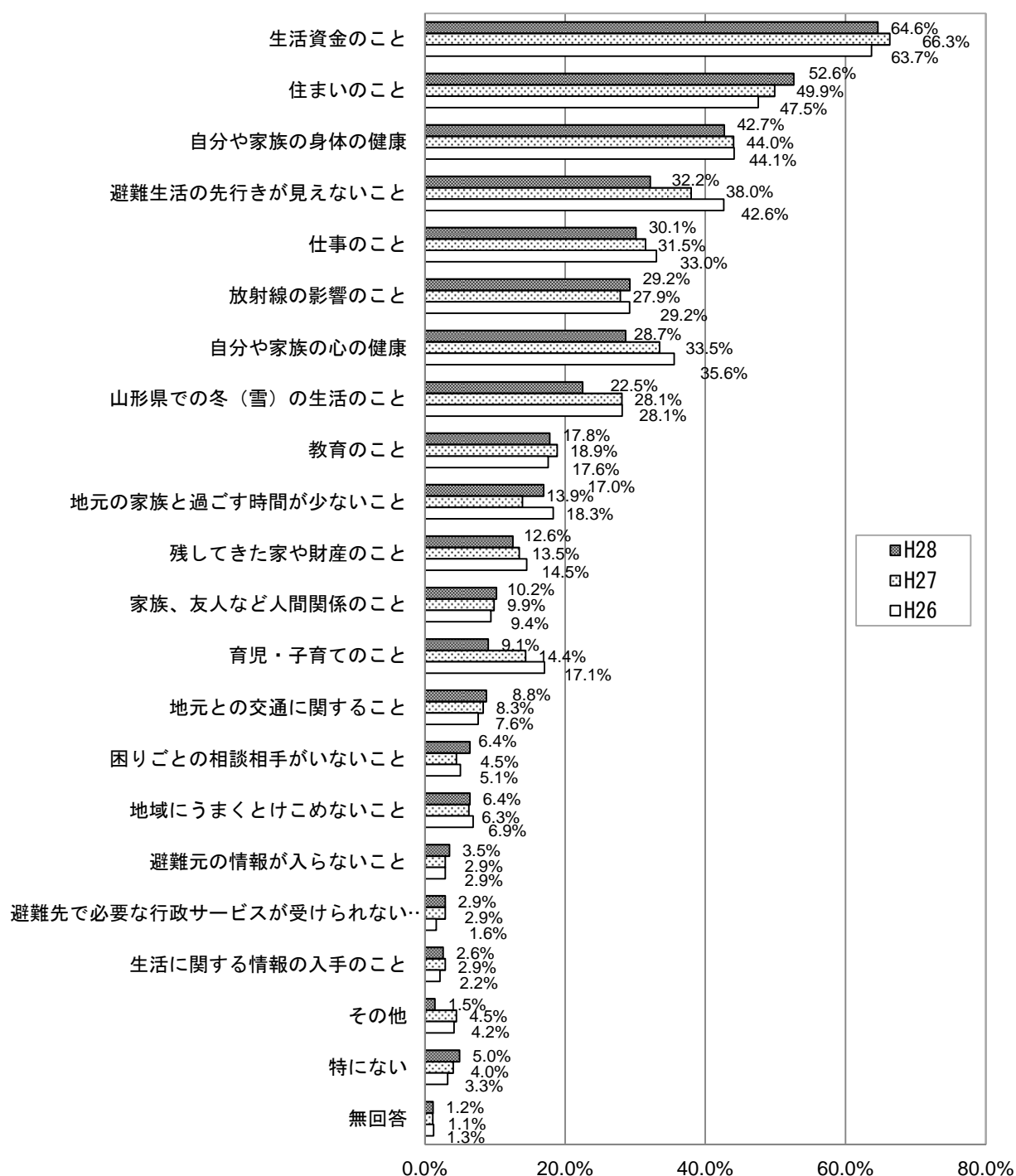


避難している住宅の種類は、「賃貸住宅（県借上げ住宅）」が 66.1%、「持ち家（避難後に取得）」が 11.1%、「公営住宅」が 9.6%となっており、「持ち家（避難後に取得）」の割合が増加傾向にあります。

2 山形での生活について

(1) 「困っていること、不安なこと」について

今の生活で困っていること、不安なこと（複数回答）

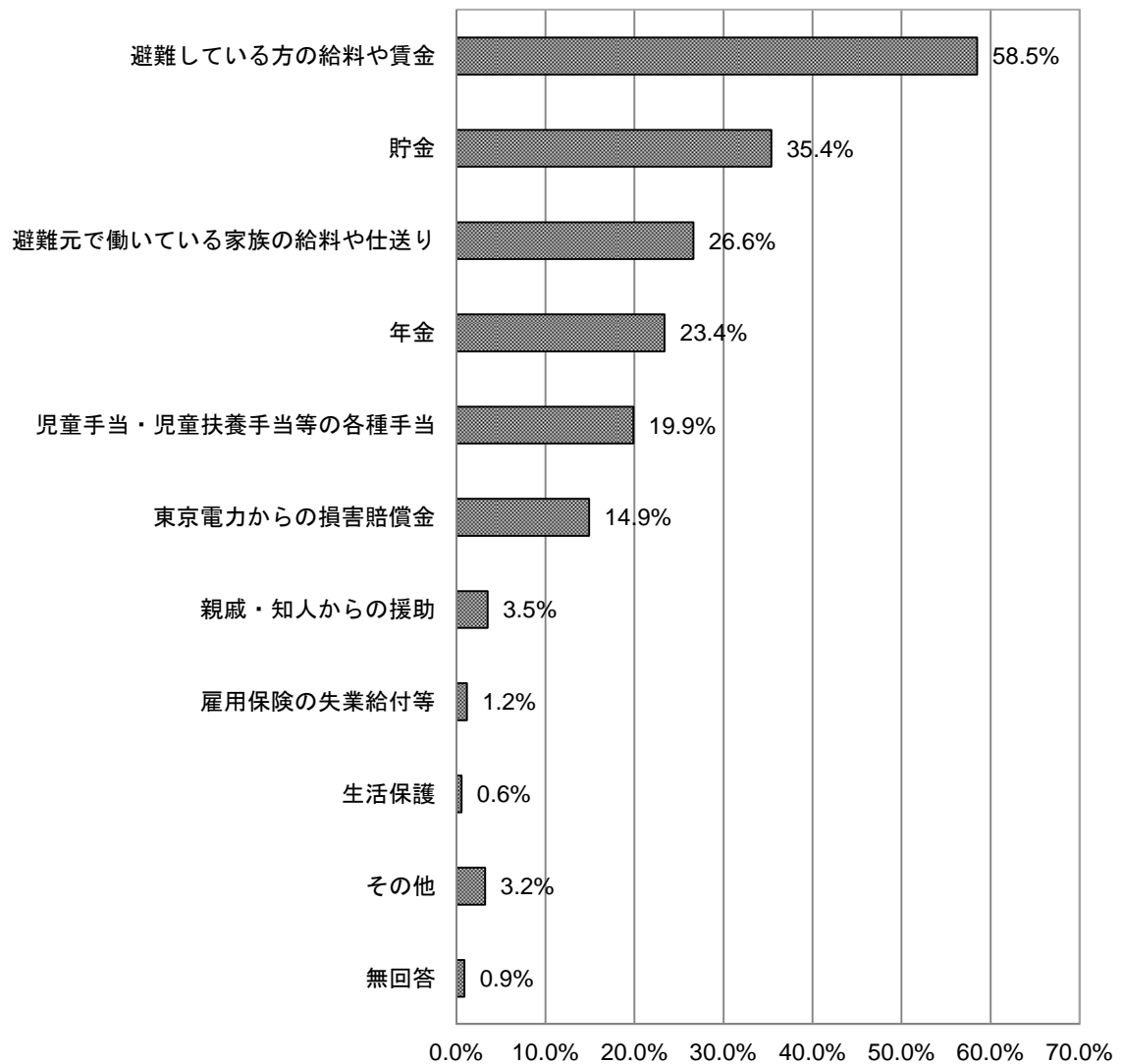


今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が64.6%と最も多く、次いで「住まいのこと」、「自分や家族の身体の健康」の順となっており、それぞれ40%を超えています。

「住まいのこと」に関する割合は年々上昇しているのに対し、「避難生活の先行きが見えないこと」、「自分や家族の心の健康」、「育児・子育てのこと」などの割合が年々低下しています。

(2) 生活資金について

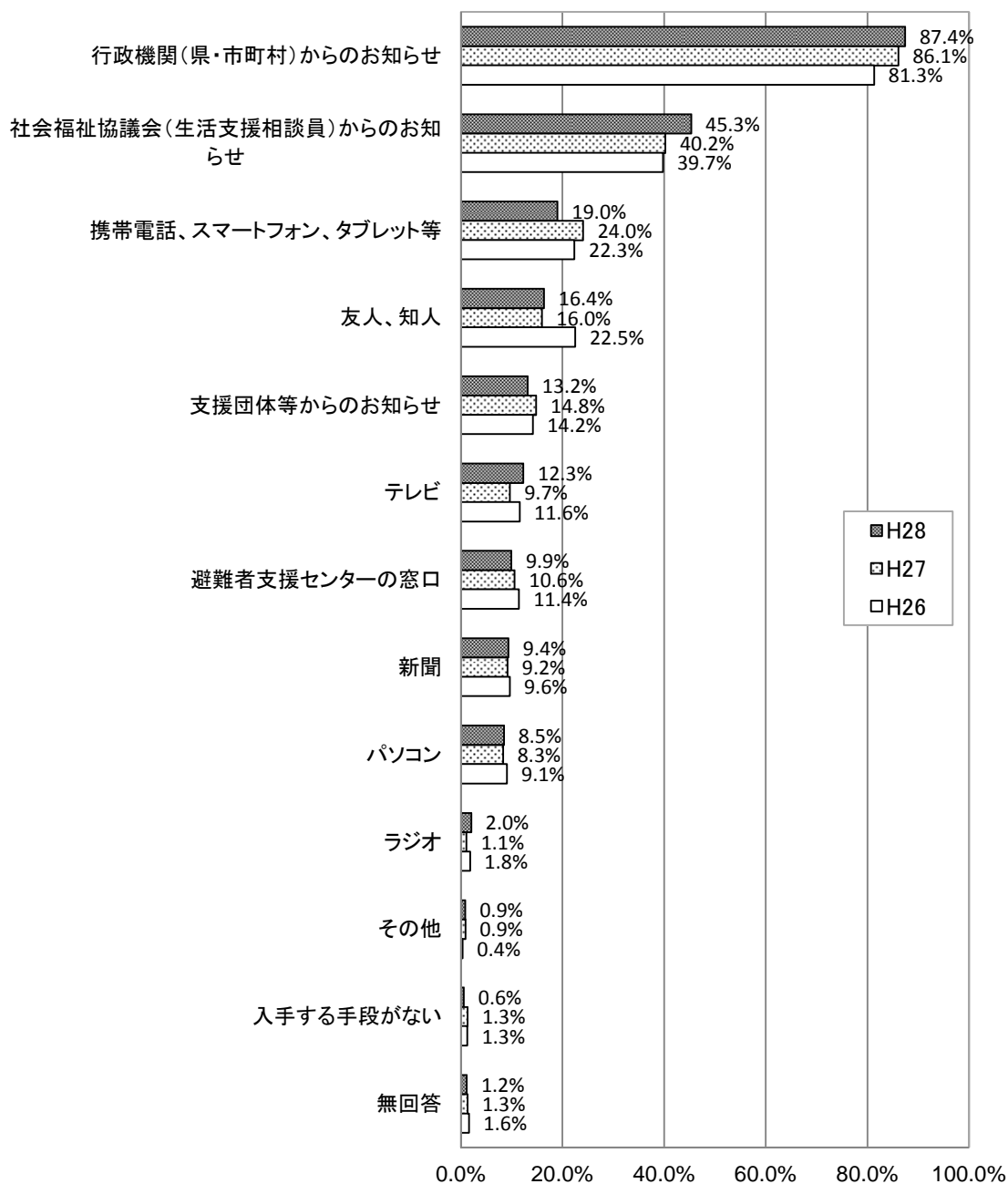
世帯の生活資金（あてはまるもの3つまで）



世帯における生活資金をどこから得ているかについては、「避難している方の給料や賃金」が 58.5%と最も高く、続いて「貯金」、「避難元で働いている家族の給料や仕送り」、「年金」、「児童手当・児童扶養手当等」の順となっています。

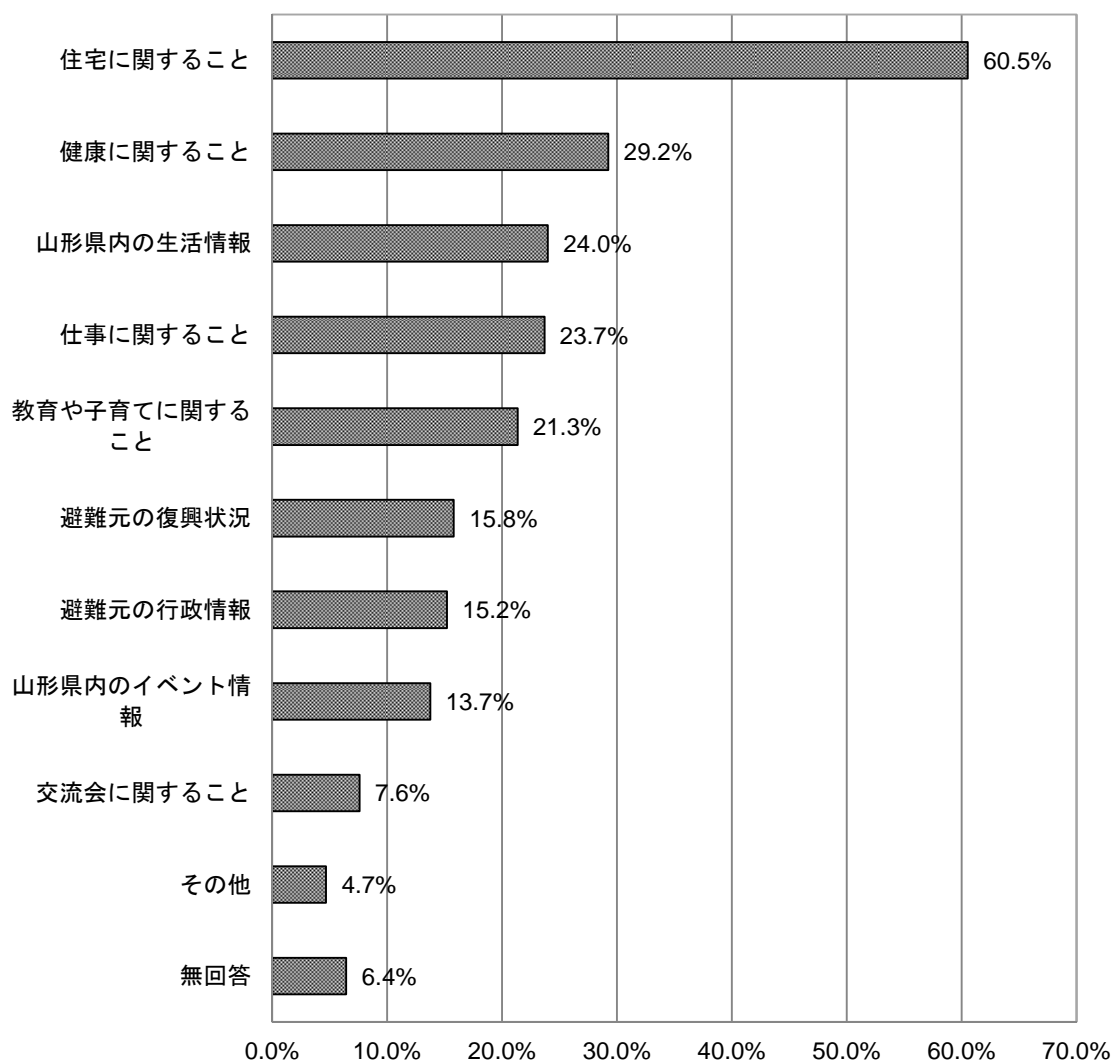
(3) 避難者支援に関する情報の入手について

避難者支援に関する情報の入手手段(複数回答)



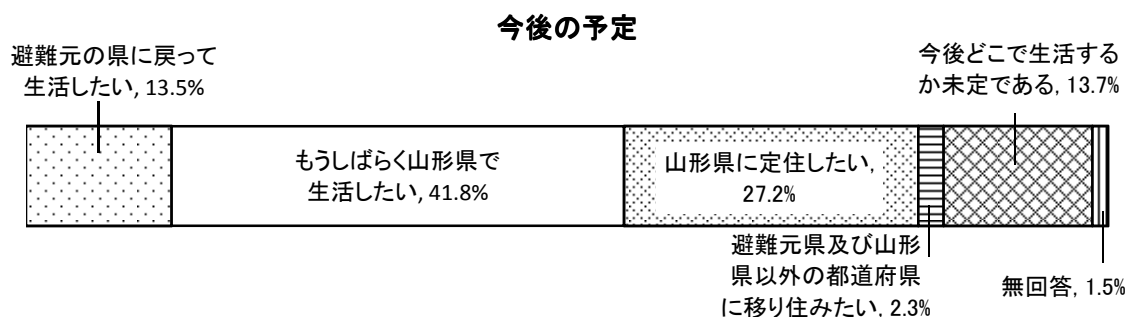
避難者支援に関する情報の入手手段は、「行政機関（県・市町村）からのお知らせ」が 87.4%と最も多く、次いで「社会福祉協議会（生活支援相談員）からのお知らせ」、「携帯電話、スマートフォン、タブレット等」、「友人、知人」の順となっています。

避難者支援に関する情報で希望する内容（複数回答）



避難者支援に関する情報で希望する内容は、「住宅に関すること」が60.5%と最も多く、次いで「健康に関すること」、「山形県内の生活情報」、「仕事に関すること」の順となっています。

3 今後の生活について (1) 今後の予定について

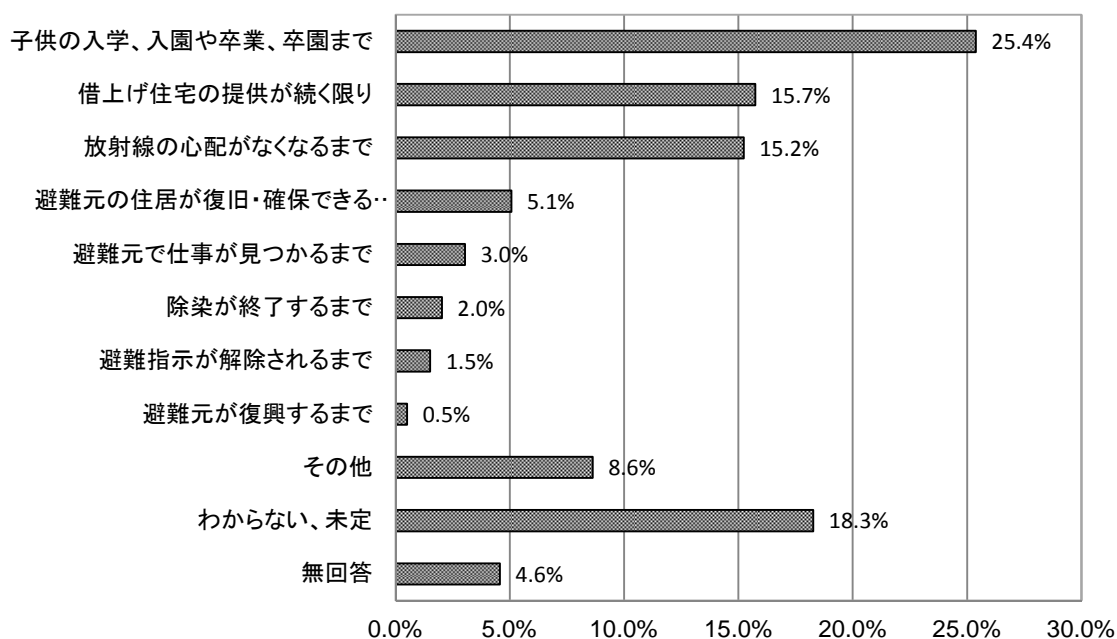


今後の予定について、「もうしばらく山形県で生活したい」が41.8%、「山形県に定住したい」が27.2%で、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が69.0%となっています。

※ 平成28年度から「もうしばらく山形県で生活したい」の項目を追加しました。

(2) 避難期間の見通しと帰還について

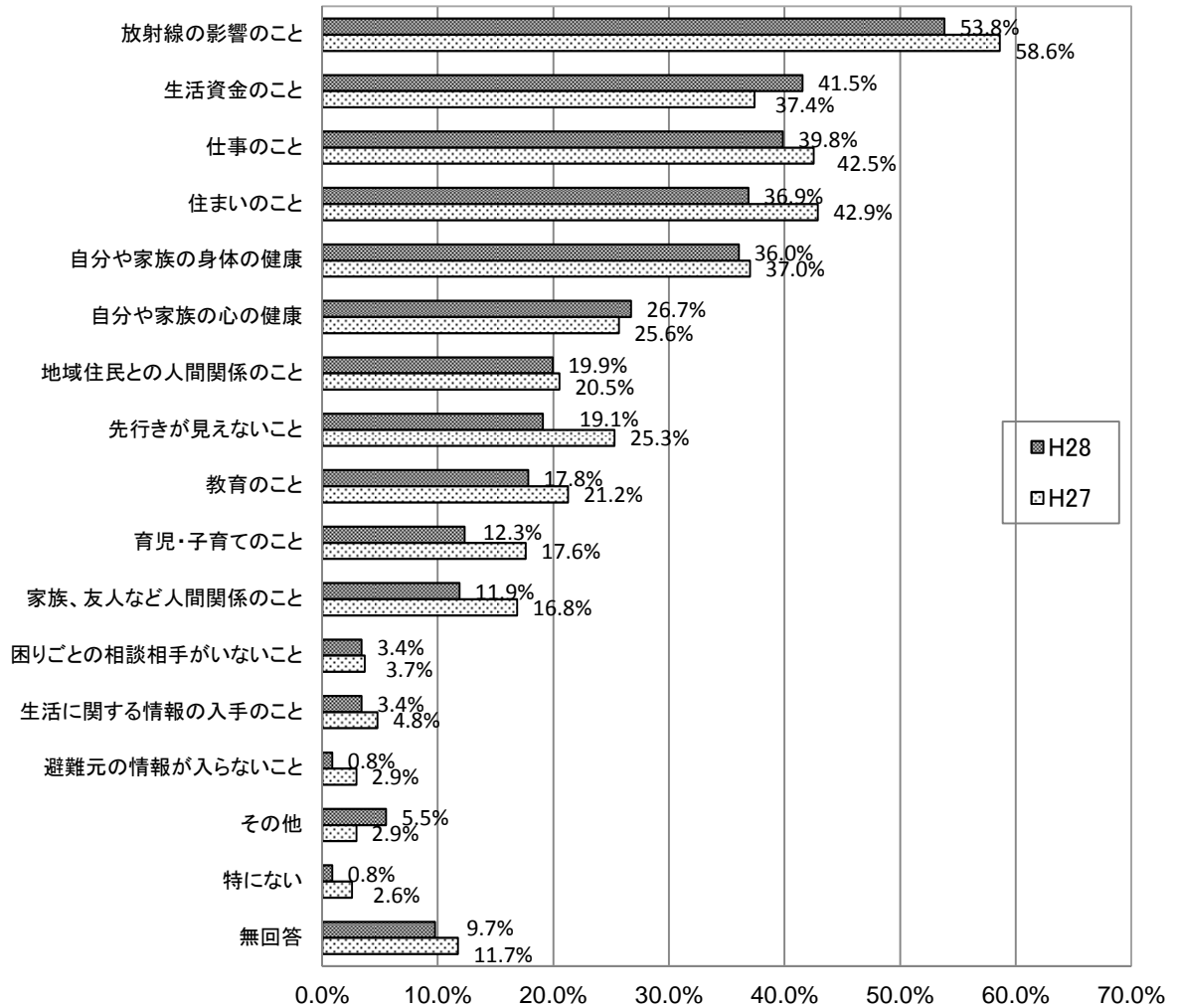
山形県内での避難期間の見通し



3(1)で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子どもの入学、入園や卒業、卒園まで」が25.4%で最も多く、次いで「借上げ住宅の提供が続く限り」、「放射線の心配がなくなるまで」の順となっています。

また、18.3%の方が「わからない、未定」となっています。

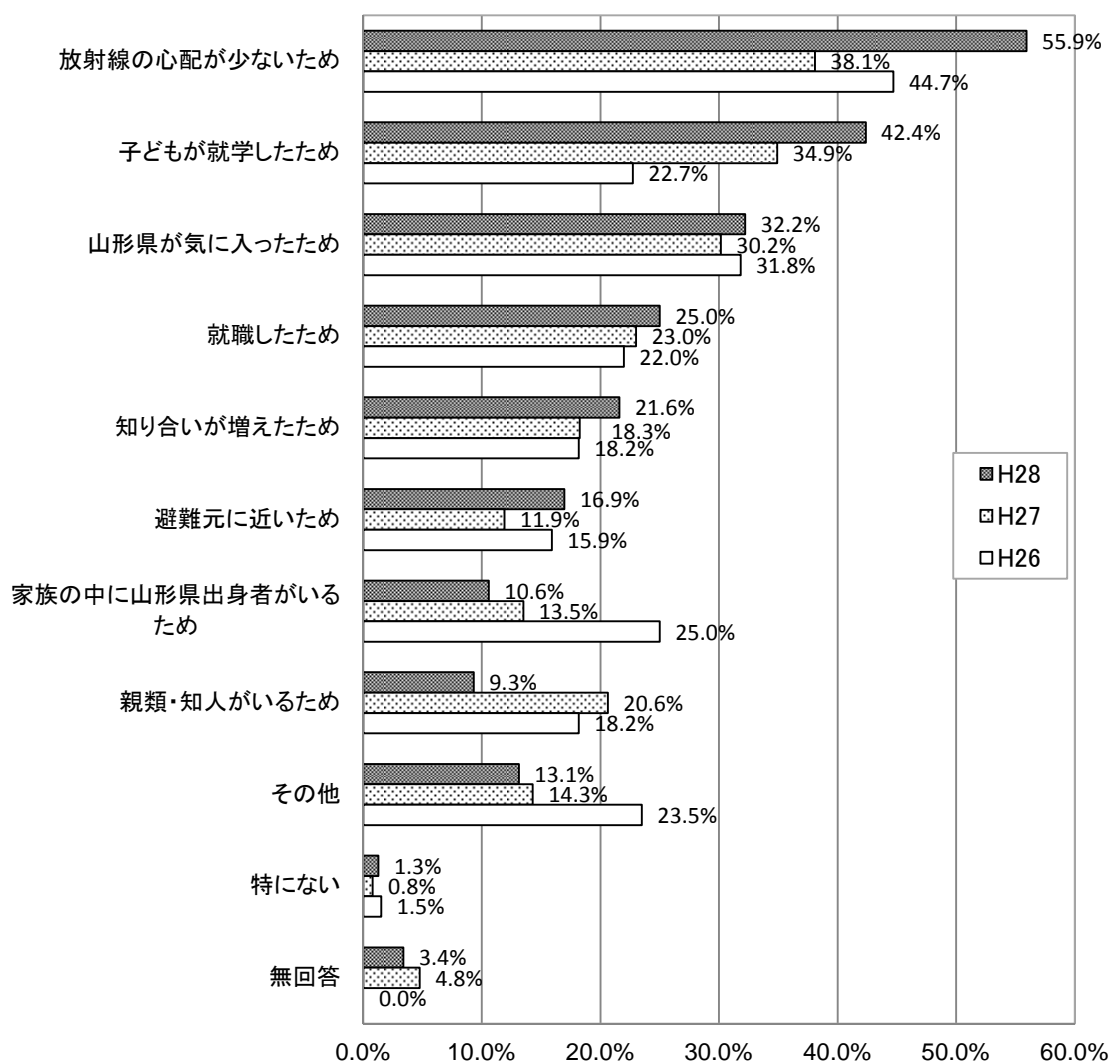
避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3(1)で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方の、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「放射線の影響のこと」と答えた方が53.8%と最も多く、次いで「生活資金のこと」、「仕事のこと」の順となっています。

(3) 山形県内への定住について

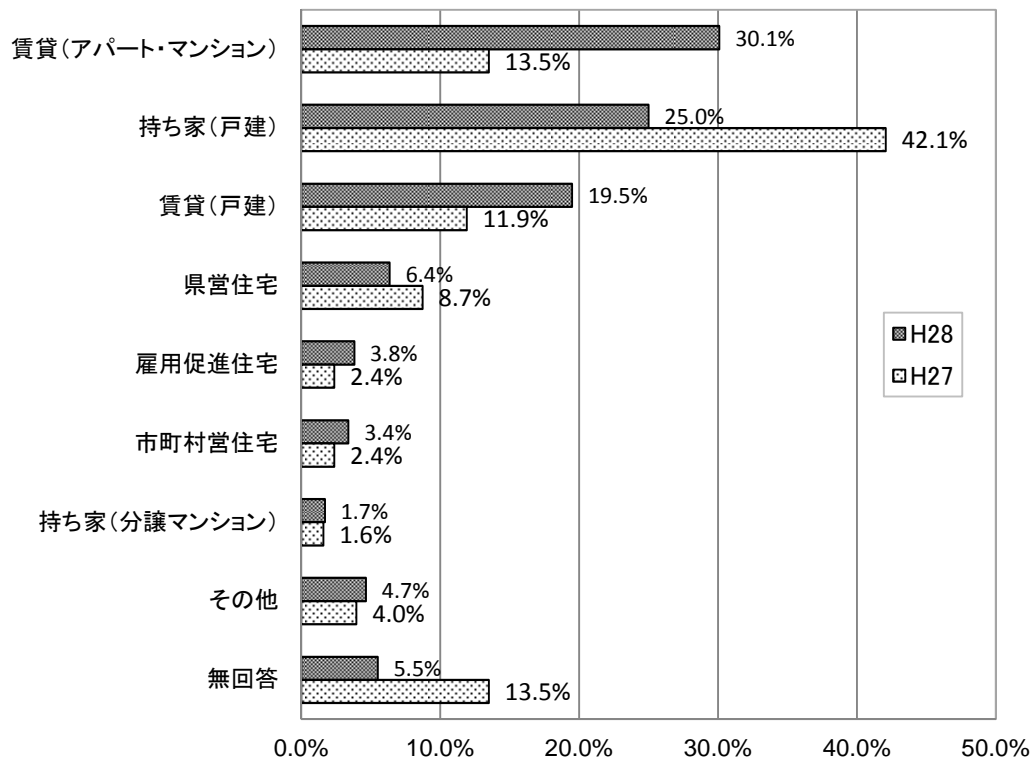
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由
(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「放射線の心配が少ないため」が55.9%と最も多く、次いで「子どもが就学したため」、「山形県が気に入ったため」の順となっています。「子どもが就学したため」、「就職したため」が年々上昇しています。

※ 平成27年度までは「山形県内に定住したい」と答えた方におたずねした項目です。

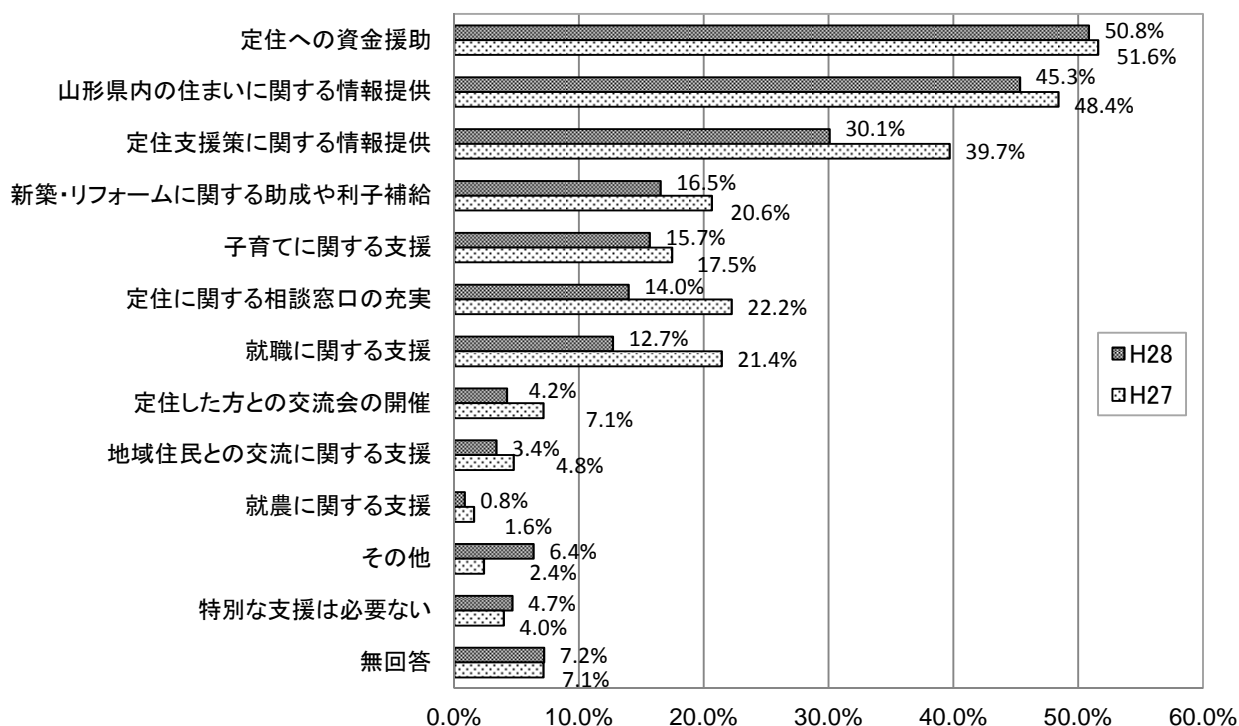
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する住居



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する住居の形態は、「賃貸(アパート・マンション)」が30.1%と最も多く、次いで「持ち家(戸建)」、「賃貸(戸建)」の順となっています。

※ 平成27年度は「山形県内に定住したい」と答えた方におたずねした項目です。

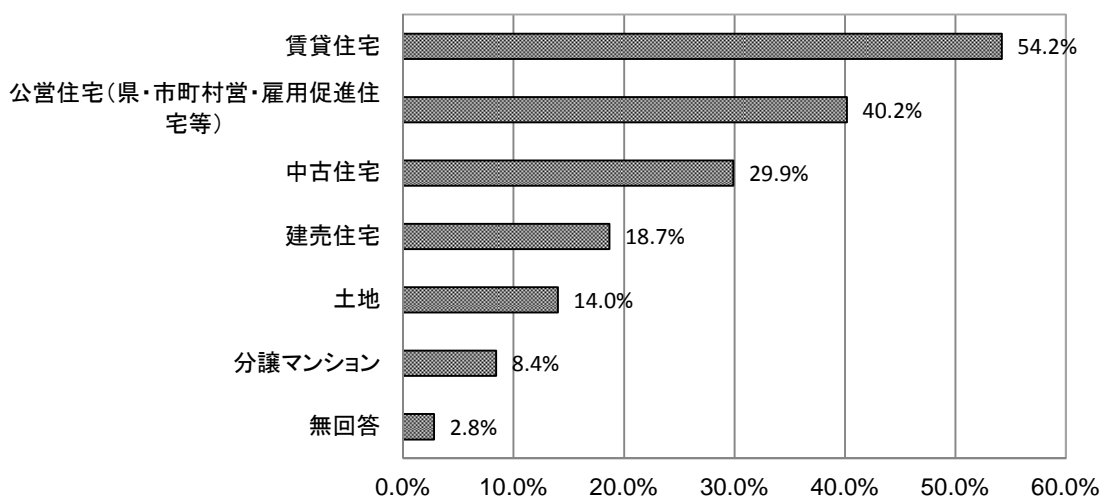
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の希望する支援は、「定住への資金援助」が50.8%と最も多く、次いで「山形県内の住まいに関する情報提供」、「定住支援策に関する情報提供」の順となっています。

※平成27年度は「山形県内に定住したい」と答えた方におたずねした項目です。

山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)

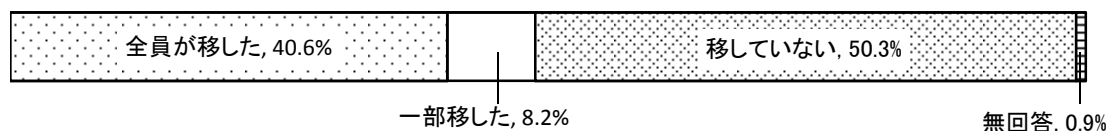


上記回答で「山形県内の住まいに関する情報提供」で「※必要な情報は何か」の問いに対する回答は「賃貸住宅」が54.2%と最も多く、次いで「公営住宅」、「中古住宅」となっています。

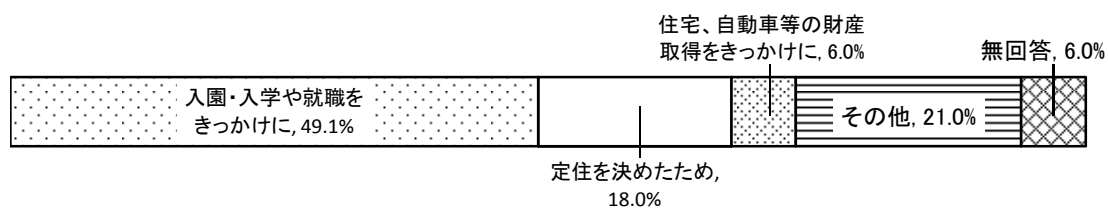
4 住民票について

住民票の山形県への異動及びその理由について

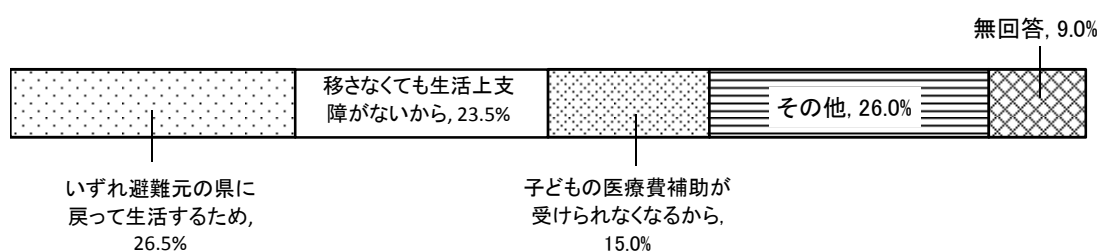
住民票の山形県への異動



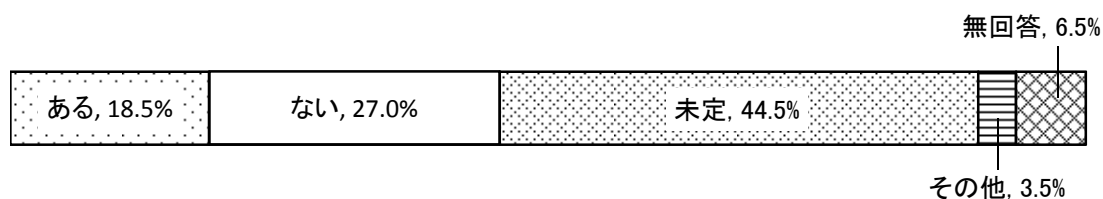
住民票を移した理由



住民票を移していない理由



山形県に住民票を移す考えの有無



山形県へ住民票を異動した方は世帯の一部を移した方も含め 48.8%、移していない方は 50.3%で、移していない方がわずかに半数を超えていました。

移した方の理由は「入園・入学や就職をきっかけに」という方が 49.1%と最も多く、次いで「定住を決めたため」となっています。

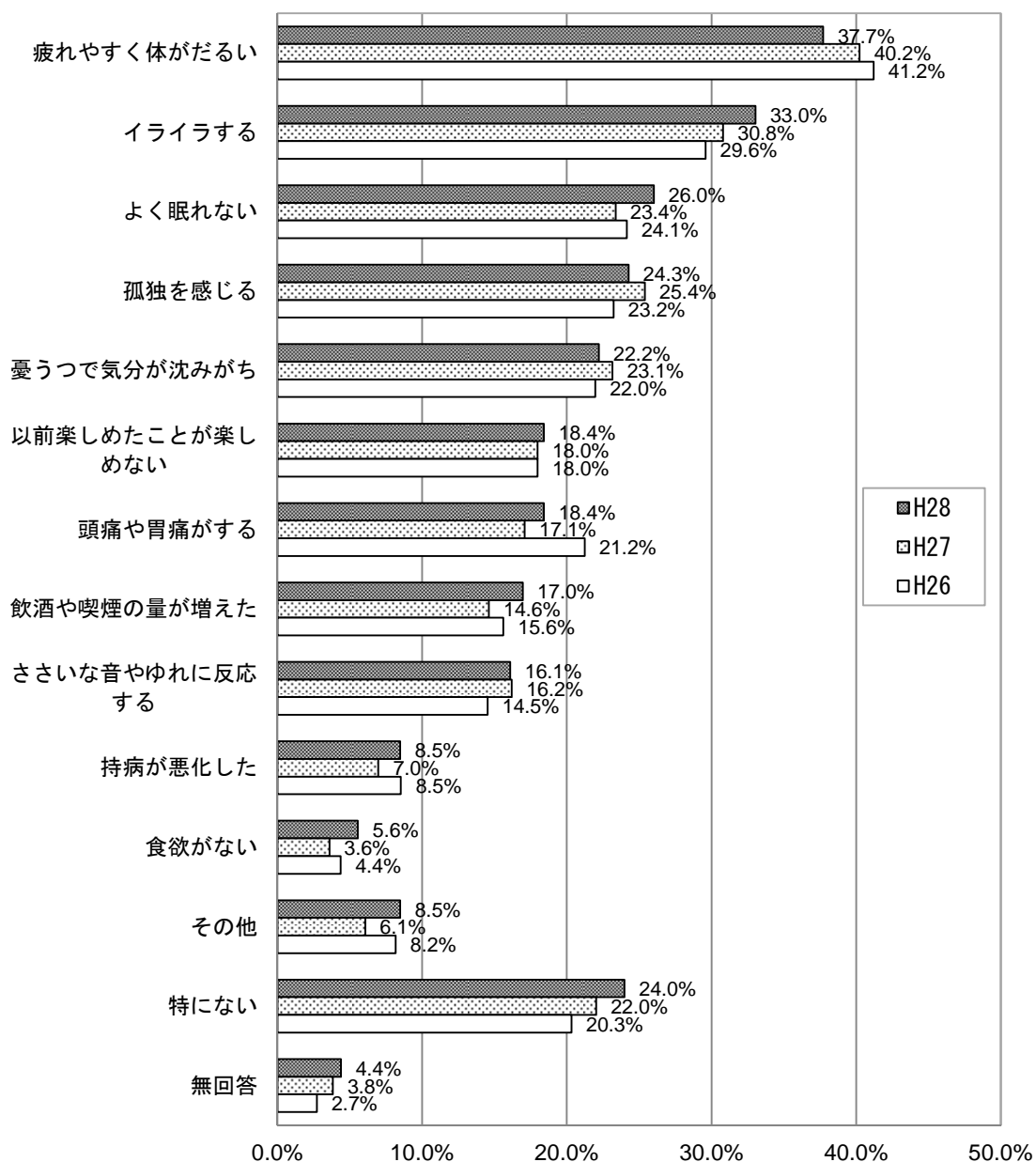
また、移さない理由は「いずれ避難元に戻って生活するため」や「移さなくても生活上支障がない」という理由が多くありました。

今後、山形県に住民票を移すかの問いでは、「未定」の方が 44.5%と最も多くなっています。

5 心身の健康について

(1) 心身の不調について

心身の不調について（複数回答）

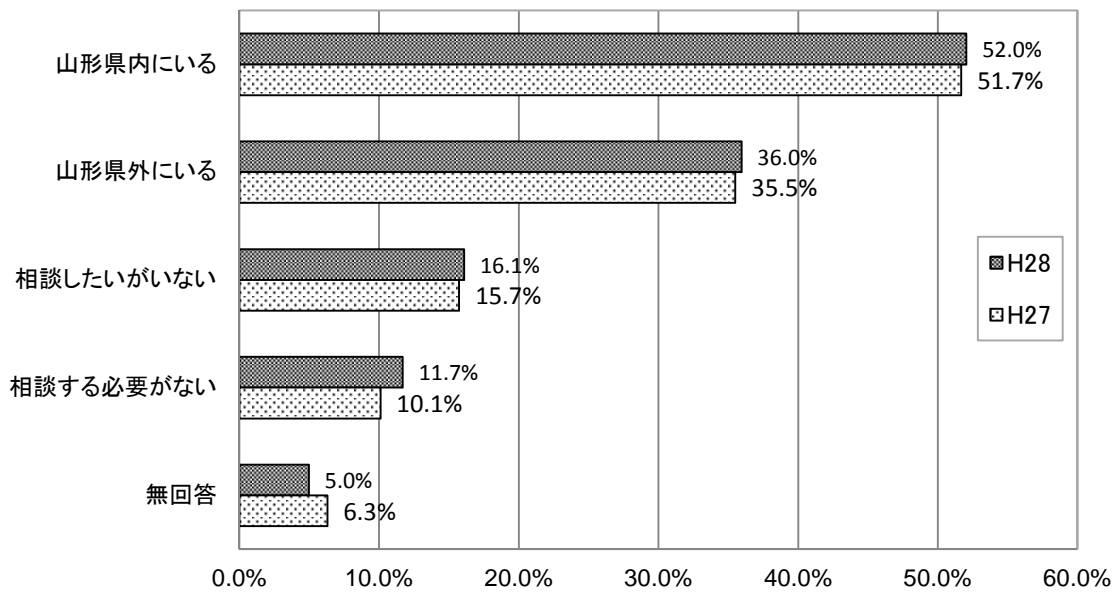


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が37.7%で最も多く、次いで「イライラする」、「よく眠れない」の順となっています。

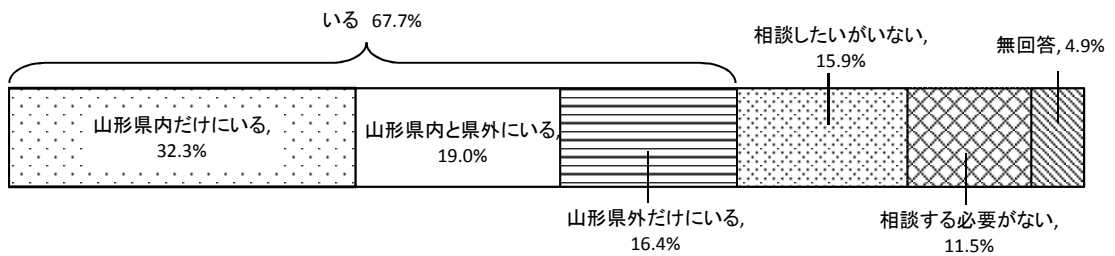
「特にない」という方の割合は少しずつ高くなっているものの、24.0%にとどまっており、8割弱の方は心身に何らかの不調を抱えています。

(2) 健康の相談相手について

心身の健康について相談する相手(複数回答)



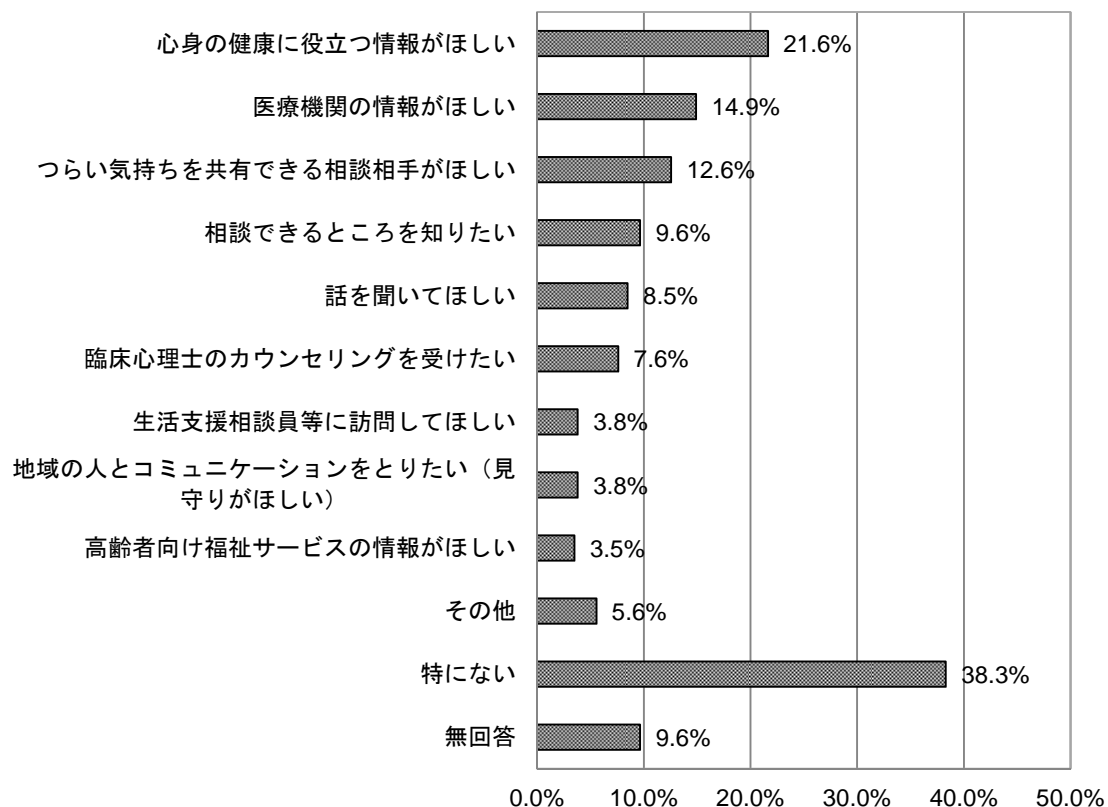
相談相手の有無・相談相手



心身の健康について、相談する相手がいるかをたずねたところ、52.0%が「山形県内にいる」、36.0%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の67.7%でした。

(3) 心身の健康に関する要望について

心身の健康に関して望むこと（複数回答）

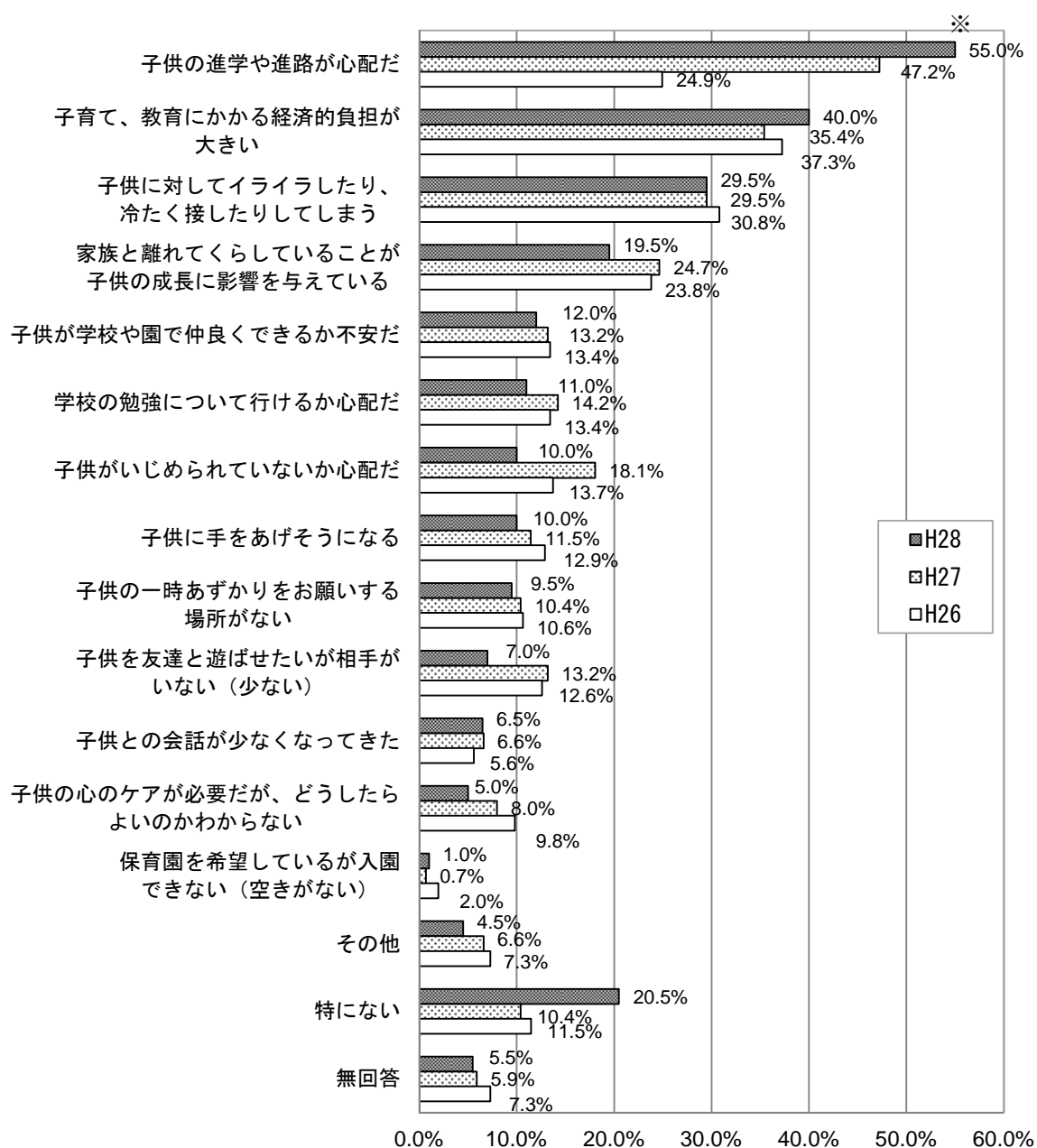


心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報がほしい」が 21.6%と最も多く、次いで「医療機関の情報がほしい」、「つらい気持ちを共有できる相談相手がほしい」の順となっています。

6 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子供がいる方）

（1）教育や子育てで困っていることについて

教育や子育てで困っていること（複数回答）

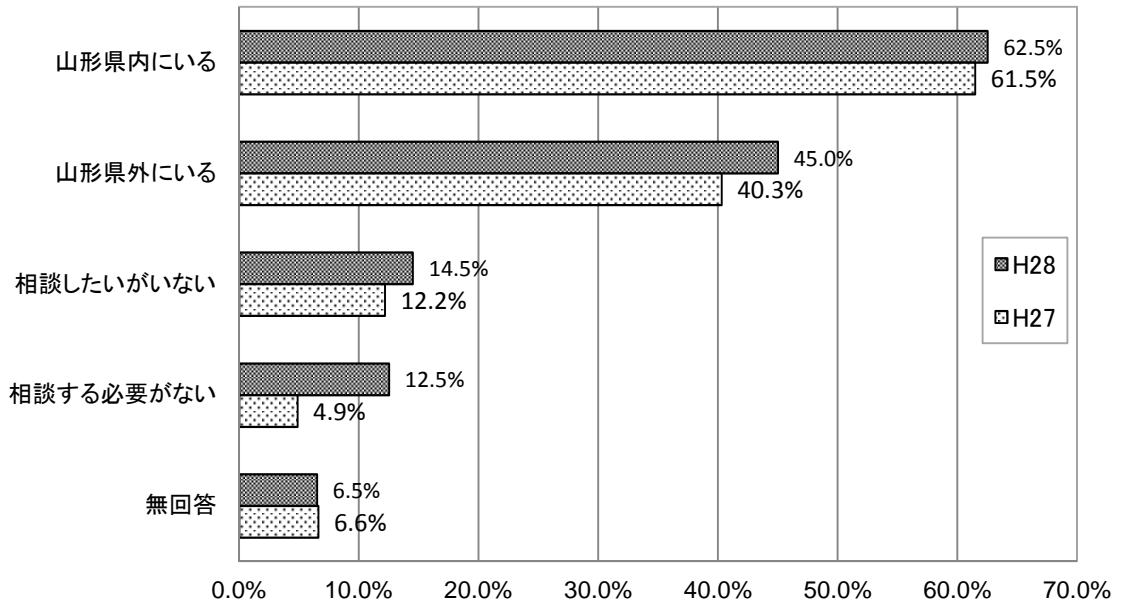


教育や子育てで困っていることは、「子どもの進学や進路が心配だ」が55.0%で最も多く、次いで「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」、「子どもに対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう」の順となっています。

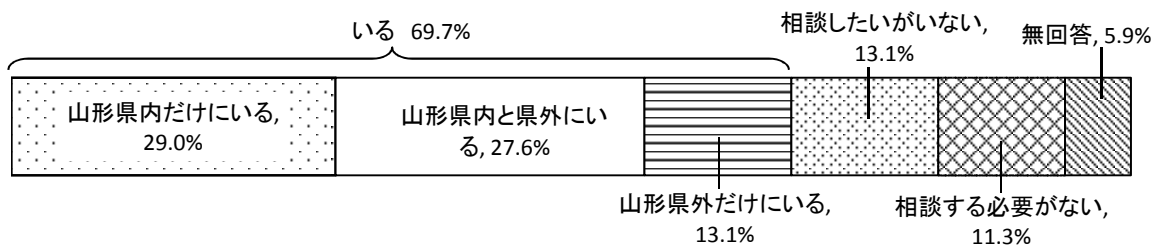
※ 「子どもの進学や進路が心配だ」の項目は、平成26年度は「子どもの進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」という項目でたずねています。

(2) 子育ての相談相手について

子育てについて相談する相手(複数回答)



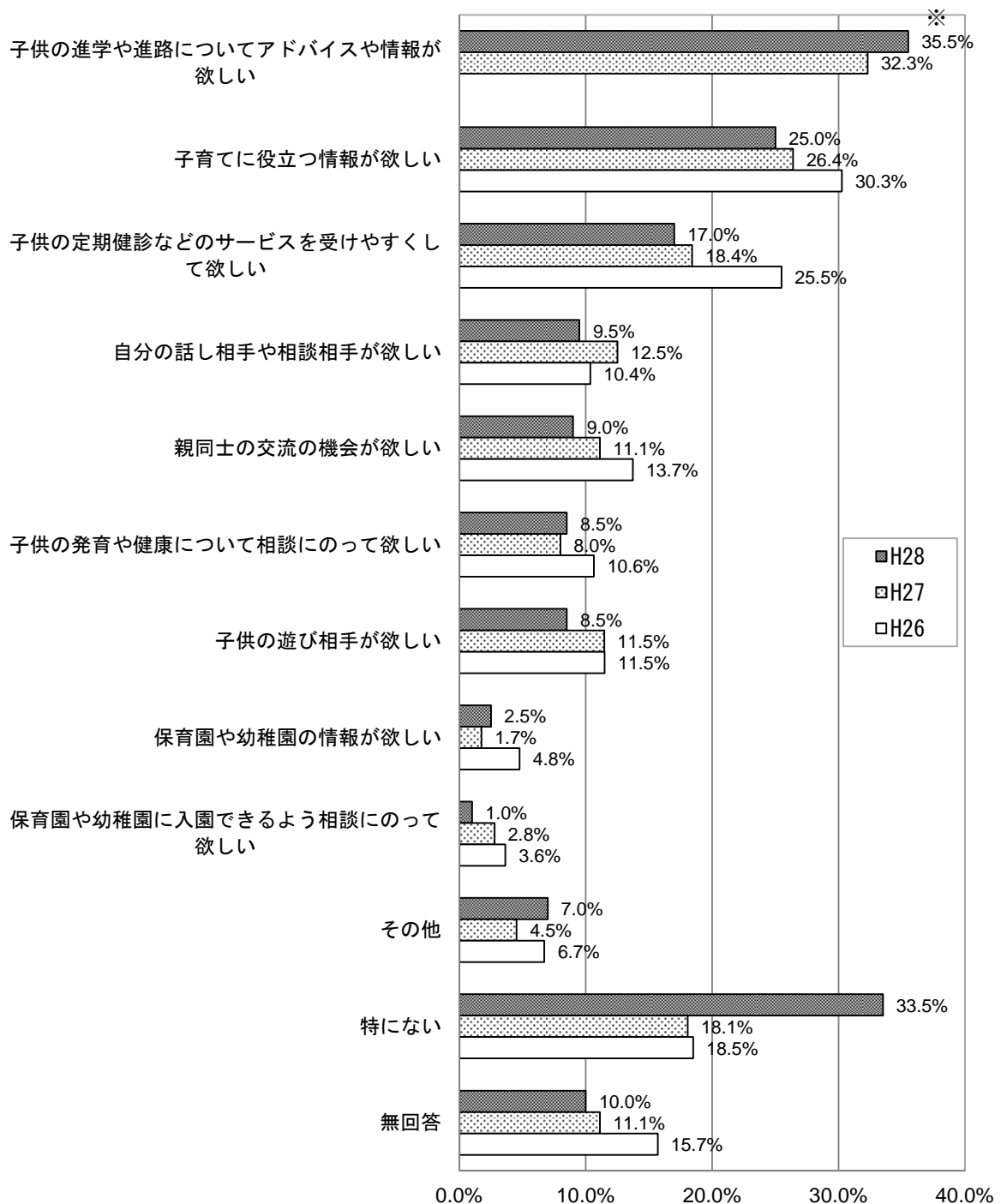
相談相手の有無・相談相手



子育てについて、相談する相手がいるかをたずねたところ、62.5%が「山形県内にいる」、45.0%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の69.7%でした。

(3) 教育や子育てに関する要望について

教育や子育てに関する要望（複数回答）

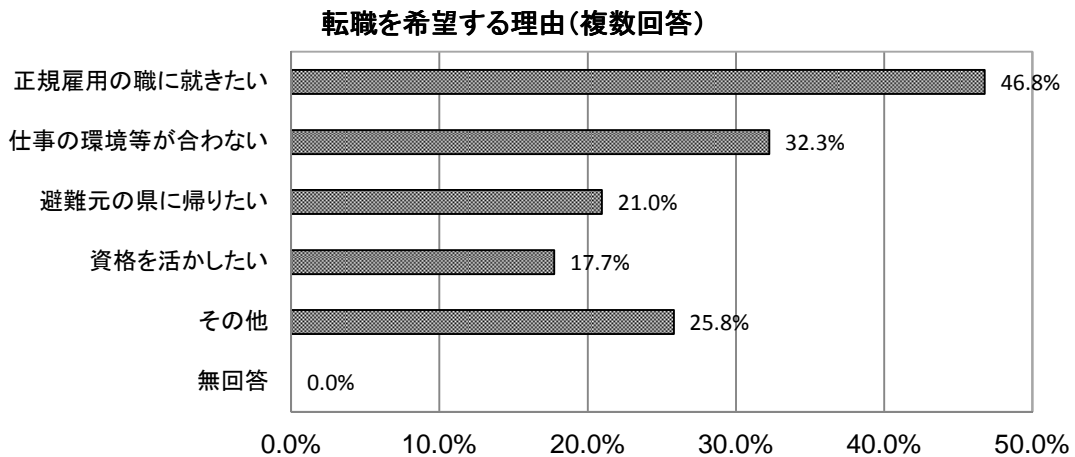
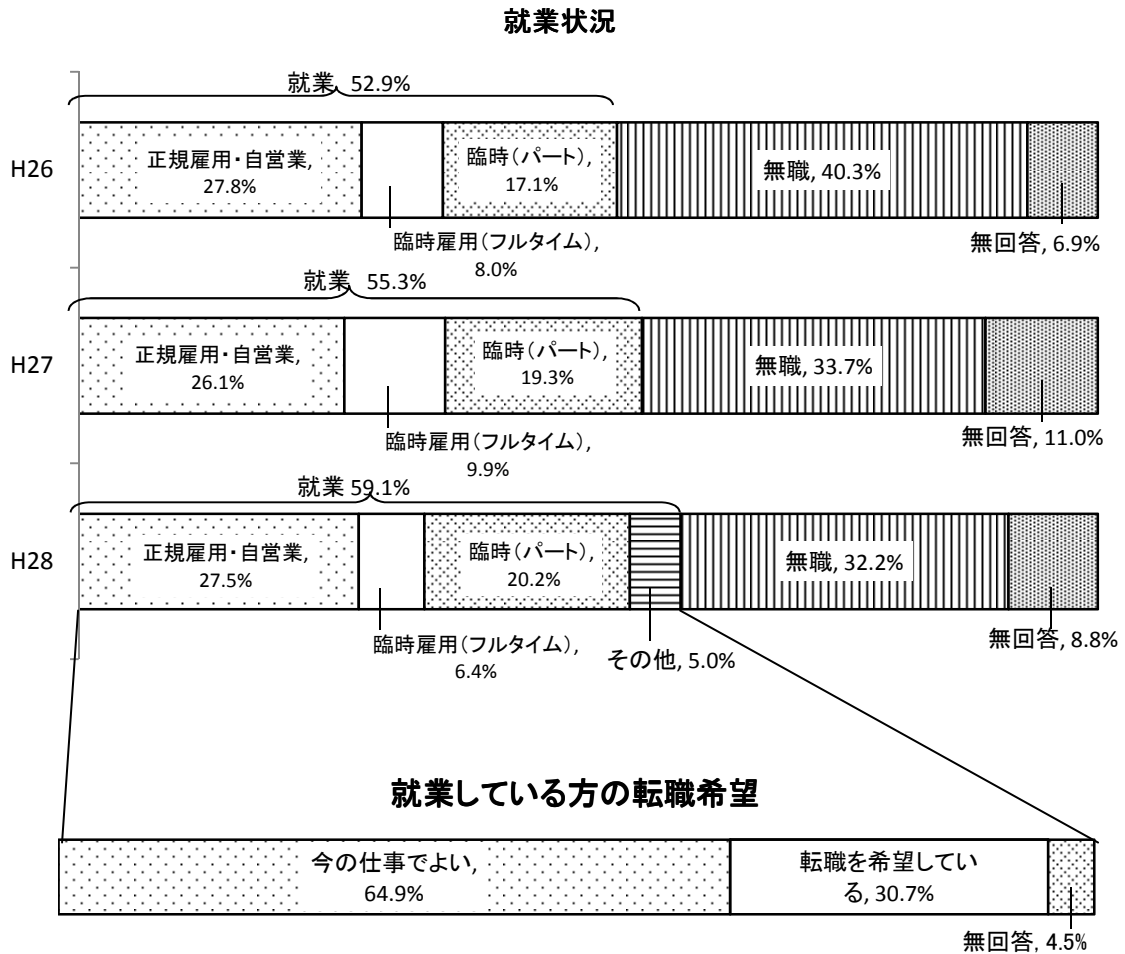


教育や子育てに関して望むことは、「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が35.5%と最も多く、次いで「子育てに役立つ情報が欲しい」、「子供の定期健診などのサービスを受けやすくして欲しい」の順となっています。

※ 「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」の項目は、平成27年度新設したため平成26年度との比較はしていません。

7 就業・就職について

(1) 就業状況、転職・就職の希望について

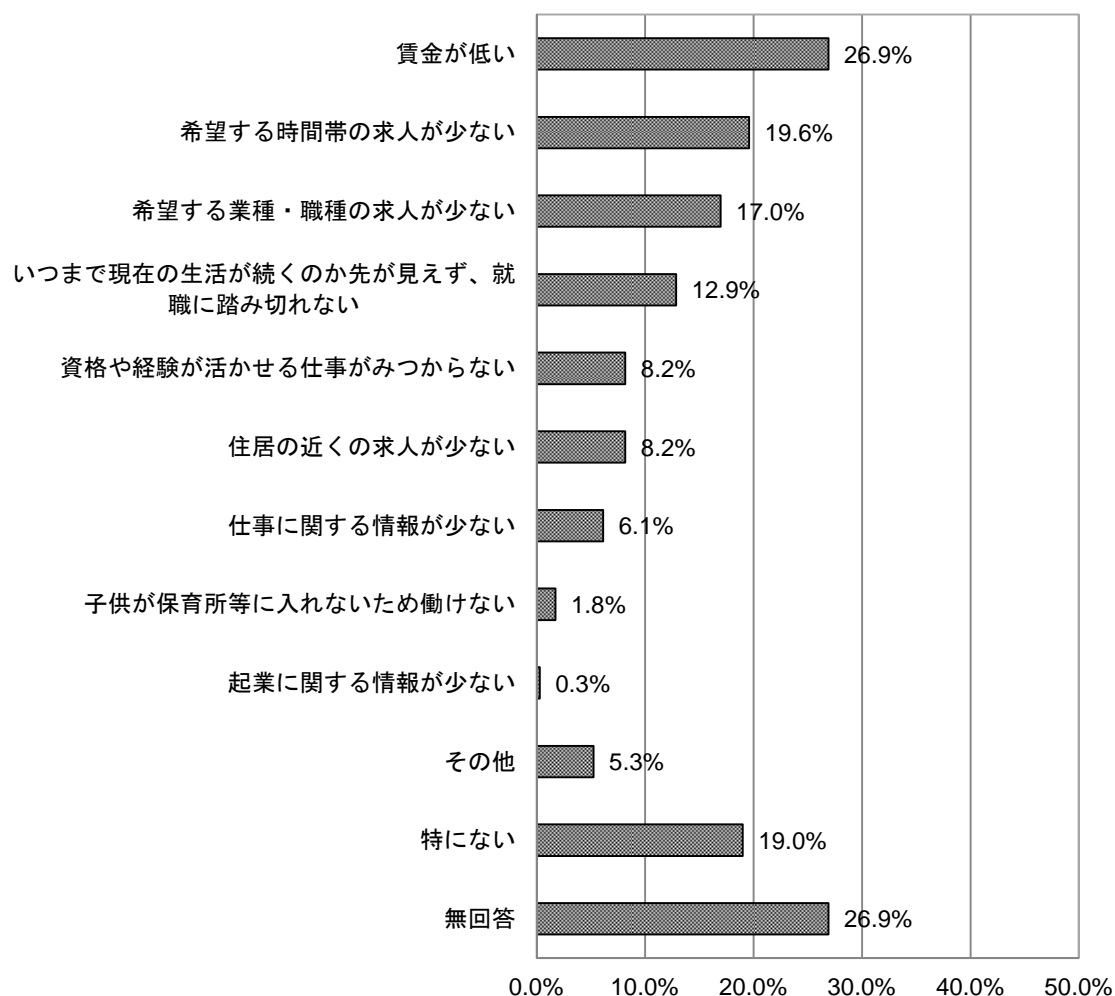


就業状況は、全体の59.1%が現在就業しており、その割合は年々上昇しています。

現在就業している方で「転職を希望する」と答えた方は、30.7%となっており、その理由としては「正規雇用の職に就きたい」46.8%と最も多く、次いで「仕事の環境等が合わない」、「避難元の県に帰りたい」となっています。

(2) 県内の就職で困っていることについて

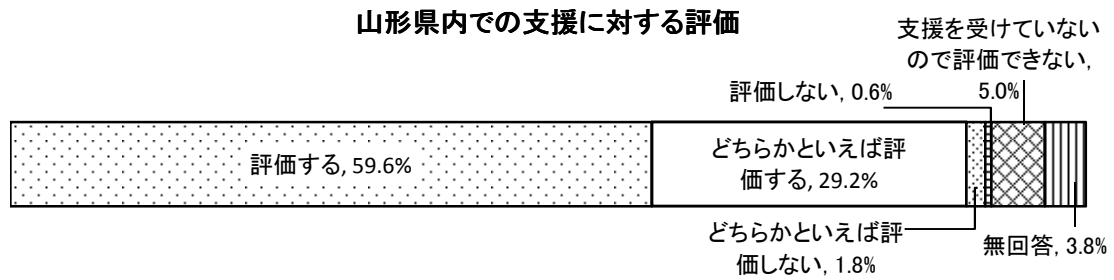
山形県内の就職で困っていること（複数回答）



山形県内の就職で困っていることは、「賃金が低い」が26.9%と最も多く、次いで「希望する時間帯の求人が少ない」、「希望する業種・職種の求人が少ない」の順となっています。

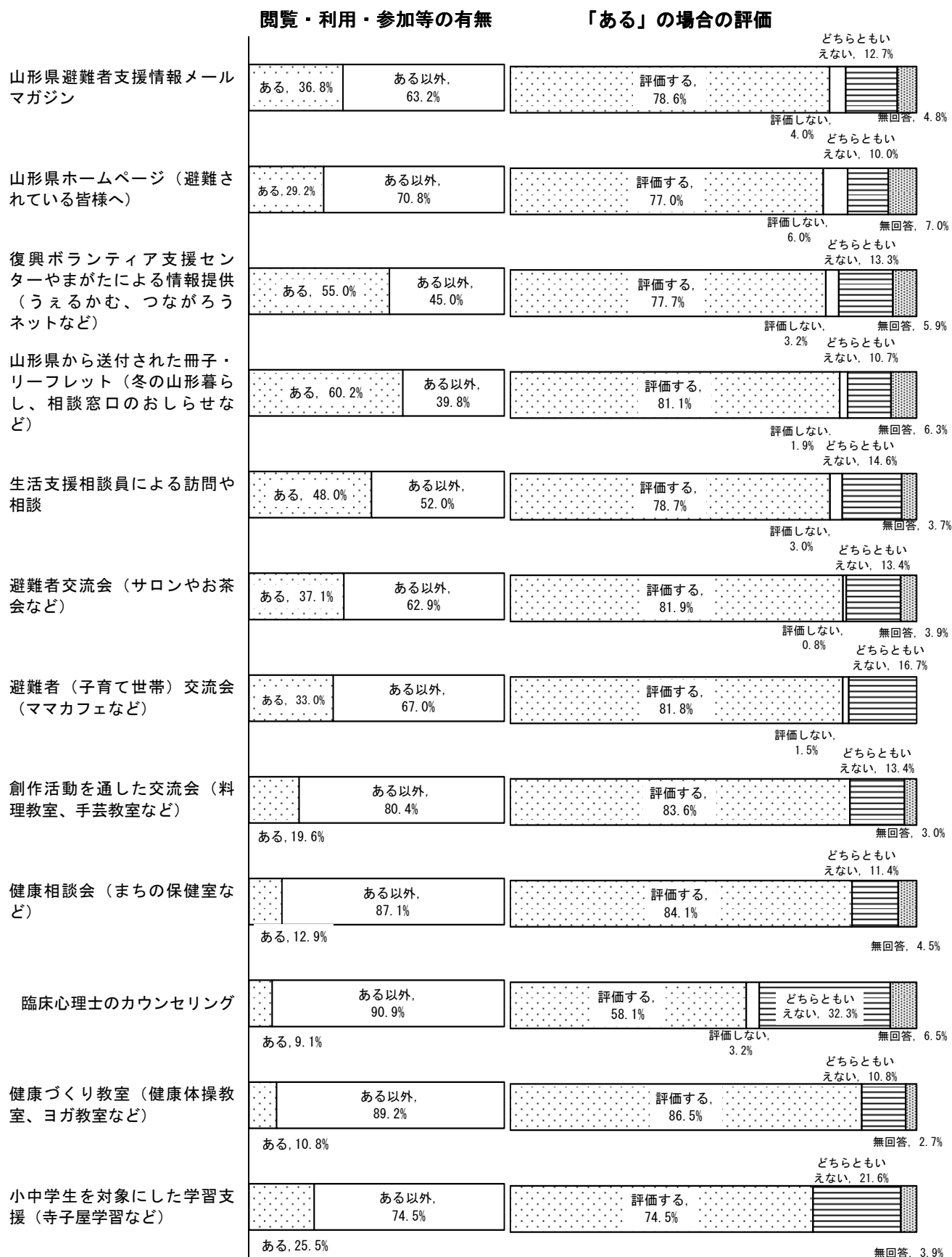
8 県内で行っている避難者支援事業について

(1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体）についてどのように感じているかの問いに、「評価する」が 59.6%、「どちらかといえば評価する」が 29.2%と約 9 割の方に評価されています。

(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について

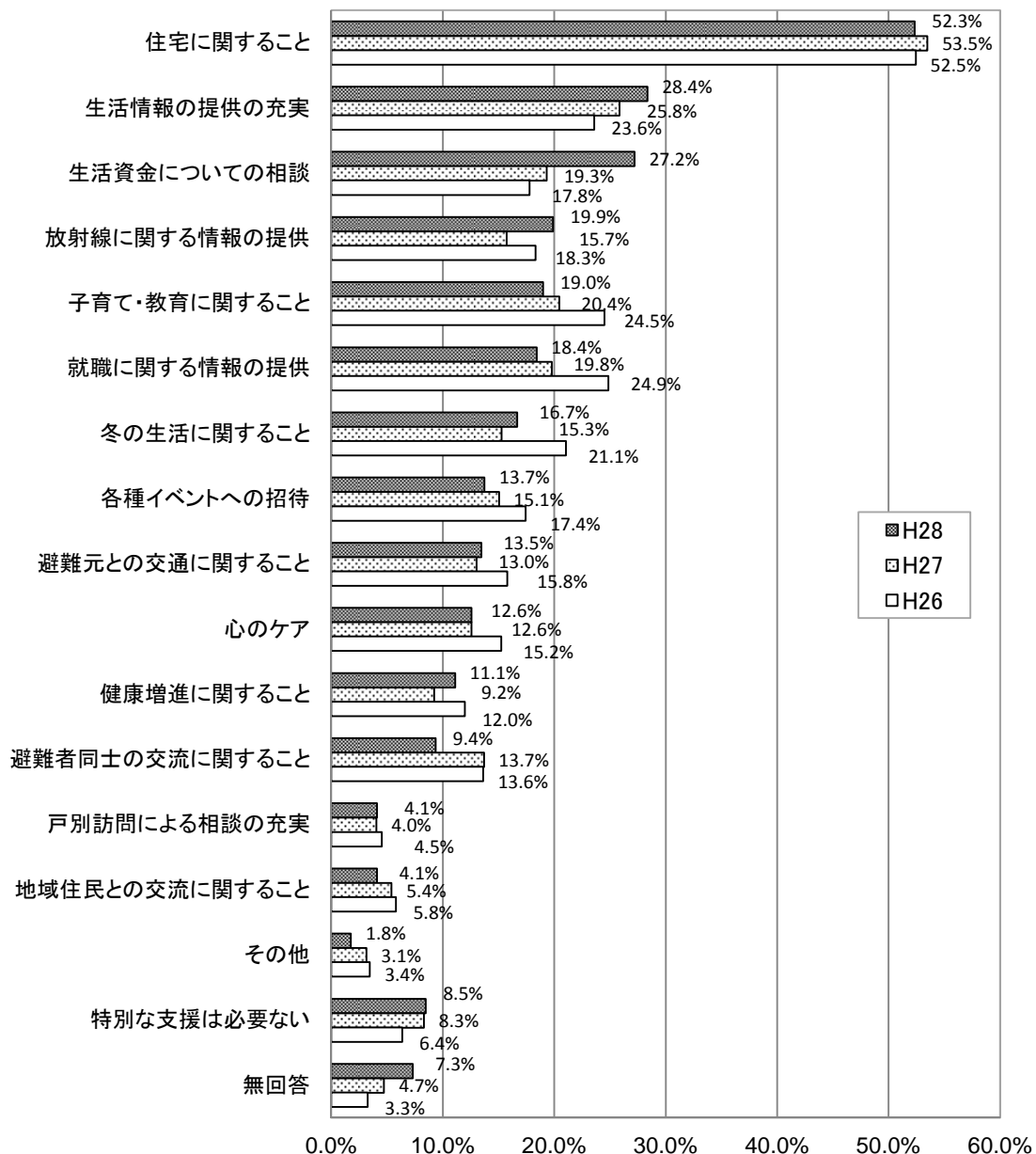


避難者支援事業別に利用状況をみると、「復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）」や「山形県から送付された冊子・リーフレット（冬の山形暮らし、相談窓口のおしらせなど）」は半数を超える方が閲覧されており、約8割の方は「評価する」と答えています。

他の多数の事業でも、利用した方の約8割は「評価する」と答えています。

（3）県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「住宅に関すること」が 52.3%と最も多く、次いで「生活情報の提供の充実」、「生活資金についての相談」の順となっています。

(4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

福島県の避難指示区域以外からの避難者に対する借上げ住宅の提供が平成 29 年 3 月末で終了することから、住宅支援の延長を求める声が多数ありました。

その他、就学援助の継続や本県への定住にあたっての補助、甲状腺の検査に関する支援等を希望する声がありました。

9 自由記入欄

(1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

放射能に対する不安があるなか、借上げ住宅の提供が終了することへの反対意見や、子どもの就学状況に合わせた無償提供期間の延長、高速道路無料措置期間の延長を求める声が多数記載されていました。

(2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと

現在の原発の状況についての正確な情報を求める声、原発事故が収束していないことを理由とする借上げ住宅の提供期間や高速道路の無料措置期間延長を求める意見等が記載されていました。

また、子どもの健康被害に対する不安から、その対策を求める記載もありました。

(3) その他、避難生活で感じていること

山形県内で行われている様々な支援や県民に対する感謝の言葉を多数いただきました。

また、子どもの教育、就労の問題、放射線に対する不安などから、帰還するか避難を続けるか決めかねていること、今後の住まいや生活資金に関して不安があることなどが記載されていました。

Ⅲ 参考資料

アンケート調査票

★ 回答方法については「該当する番号に○」、「該当する番号の選択」又は「記述」にて
 お願いします。
 ★ 山形県内にお住まいの世帯の代表の方（世帯主の方や、母子のみ避難の場合は保護者
 の方等）がご記入くださいますようお願いいたします。

※このアンケートを記入されている方についてお答えください。

性別（ 1. 男性 2. 女性 ）

年齢（1. 29歳以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上）

現在お住まいの市町村（ ）市・町・村

1 世帯の現状について

問1 このアンケートを記入されている方の世帯はどのような状況ですか。

現在のお住まい		1. 賃貸住宅（県借上げ住宅） 2. 公営住宅（県・市町村営・雇用促進住宅等） 3. 親戚、知人宅 4. 賃貸住宅（自己負担） 5. 持ち家（避難後に取得） 6. その他（ ）			
避難元 の住所	県	1. 岩手県 2. 宮城県 3. 福島県 4. その他（ ）			
	市町村	（ ）市・町・村			
避難された理由		1. 原発事故による避難指示等があった 2. 1以外			
↳ 上記で2. の場合		1. 家屋が損壊し住めない状態になったため 2. 放射線による健康への影響が心配なため 3. その他（ ）			
山形県へ避難 された時期		避難された時期 平成 年 月頃			
山形県に 避難されて いる家族		人数	（記入されているご本人も含む： ）人		
		構成	1. 18歳以下の 子供がいる	1. 両親共にいる世帯 2. 母子のみ世帯 3. 父子のみ世帯 4. 1～3を除く世帯	
		2. 18歳以下の 子供がいない	1. 単身（65歳未満） 2. 単身（65歳以上） 3. 65歳以上のみの複数人世帯 4. 1～3を除く世帯		
避難の状況		1. 家族全員で避難（単身含む） 2. 家族と離れて避難			
↳ 離れている家族 と会う頻度		1. 週1回 2. 月2～3回 3. 月1回 4. 2～3ヶ月に1回 5. その他（ ）			

2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。最も困っているものから順にお答えください。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 山形県での冬（雪）の生活のこと
13. 地域にうまくとけこめないこと
14. 放射線の影響のこと
15. 残してきた家や財産のこと
16. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
17. 避難生活の先行きが見えないこと
18. 地元との交通に関すること
19. 避難先で必要な行政サービスが受けられないこと
(内容：)
20. その他 ()
21. 特になし

問 2-2 世帯の生活資金はどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで回答)

1. 避難している方の給料や賃金
2. 避難元で働いている家族の給料や仕送り
3. 年金
4. 児童手当・児童扶養手当等の各種手当
5. 雇用保険の失業給付等
6. 貯金
7. 生活保護
8. 親戚・知人からの援助
9. 東京電力からの損害賠償金
10. その他 (具体的に)

問 2-3 避難者支援に関する情報を何から入手していますか。(複数回答可)

1. 行政機関 (県・市町村) からのお知らせ
2. 社会福祉協議会 (生活支援相談員) からのお知らせ
3. 支援団体等からのからのお知らせ
4. 避難者支援センターの窓口
5. 携帯電話、スマートフォン、タブレット等
6. パソコン
7. 友人、知人
8. テレビ
9. ラジオ
10. 新聞
11. その他 ()
12. 入手する手段がない

問 2-4 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 交流会に関すること
6. 避難元の復興状況
7. 避難元の行政情報
8. 山形県内の生活情報
9. 山形県内のイベント情報
10. その他 ()

3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最も当てはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい
2. もうしばらく山形県で生活したい
3. 山形県に定住したい
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい
5. 今後どこで生活するか未定である

問 3-2① 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最も当てはまるもの1つを回答)

1. 避難指示が解除されるまで
2. 除染が終了するまで
3. 放射線の心配がなくなるまで
4. 避難元が復興するまで
5. 避難元の住居が復旧・確保できるまで
6. 避難元で仕事が見つかるまで
7. 借上げ住宅の提供が続く限り
8. 子供の入学、入園や卒業、卒園まで
9. その他 ()
10. わからない、未定

問 3-2② 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 地域住民との人間関係のこと
13. 放射線の影響のこと
14. 先行きが見えないこと
15. その他 ()
16. 特にない

問 3-3① 問 3-1 で「2. もうしばらく山形県で生活したい」、「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

1. 避難元に近いため
2. 放射線の心配が少ないため
3. 山形県が気に入ったため (内容 :)
4. 家族の中に山形県出身者がいるため
5. 親類・知人がいるため
6. 就職したため
7. 子どもが就学したため
8. 知り合いが増えたため
9. その他 ()
10. 特にない

問 3-3② 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような住居を希望しますか。(最も希望するもの1つ)

1. 持ち家(戸建)
2. 持ち家(分譲マンション)
3. 賃貸(戸建)
4. 賃貸(アパート・マンション)
5. 県営住宅
6. 市町村営住宅
7. 雇用促進住宅
8. その他()

問 3-3③ 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、今後どのような支援を希望しますか。(複数回答可)

1. 定住支援策に関する情報提供
2. 定住に関する相談窓口の充実
3. 定住した方との交流会の開催
4. 定住への資金援助
5. 新築・リフォームに関する助成や利子補給
6. 山形県内の住まいに関する情報提供

※必要な情報は何ですか： a. 土地 b. 建売住宅 c. 中古住宅 d. 分譲マンション
e. 賃貸住宅 f. 公営住宅(県・市町村営・雇用促進住宅等)

7. 地域住民との交流に関する支援
8. 子育てに関する支援
9. 就職に関する支援
10. 就農に関する支援
11. その他()
12. 特別な支援は必要ない

4 住民票について

問 4-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中で、現在住んでいる市町村に住民票を移した方はいますか。

1. 全員が移した
2. 一部移した
3. 移していない

問 4-2 問 4-1 で「**1.** 全員が移した」「**2.** 一部移した」と答えた方は、移した理由についてお答えください。

1. 入園・入学や就職をきっかけに
2. 住宅、自動車等の財産取得をきっかけに
3. 定住を決めたため
4. その他(具体的に)

問 4-3 問 4-1 で「**2.** 一部移した」「**3.** 移していない」と答えた方は、移していない理由についてお答えください。

1. いずれ避難元の県に戻って生活するため
2. 子どもの医療費補助が受けられなくなるから
3. 移さなくても生活上支障がないから
4. その他(具体的に)

問 4-4 住民票を移していない方で、今後、山形県内に住民票を移す考えはありますか。

1. ある
2. ない
3. 未定
4. その他（具体的に _____)

5 心身の健康について

問 5-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中で、現在、心身の不調がありますか。（複数回答可）

1. 食欲がない
2. 疲れやすく体がだるい
3. よく眠れない
4. 孤独を感じる
5. 飲酒や喫煙の量が増えた
6. 憂うつで気分が沈みがち
7. ささいな音やゆれに反応する
8. 以前楽しめたことが楽しめない
9. イライラする
10. 持病が悪化した
11. 頭痛や胃痛がする
12. その他（ _____)
13. 特にない

問 5-2 心身の健康について、相談する相手はいますか。（複数回答可）

1. 山形県外にいる
2. 山形県内（山形市を除く）にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問 5-3 心身の健康に関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 心身の健康に役立つ情報がほしい
2. 相談できるところを知りたい
3. 話を聞いてほしい
4. つらい気持ちを共有できる相談相手がほしい
5. 臨床心理士のカウンセリングを受けたい
6. 生活支援相談員等に訪問してほしい
7. 地域の人とコミュニケーションをとりたい（見守りがほしい）
8. 医療機関の情報がほしい
9. 高齢者向け福祉サービスの情報がほしい
10. その他（ _____)
11. 特にない

6 教育や子育てについて（該当する方のみ回答してください）

問 6-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。
（複数回答可）

1. 保育園を希望しているが入園できない（空きがない）
2. 子供の一時あずかりをお願いする場所がない
3. 子供の心のケアが必要だが、どうしたらよいのかわからない
4. 子供に対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
5. 子供に手をあげそうになる
6. 子供との会話が少なくなってきた
7. 子供を友達と遊ばせたいが相手がない（少ない）
8. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
9. 家族と離れてくらしていることが子供の成長に影響を与えている
10. 子供が学校や園で仲良くできるか不安だ
11. 子供がいじめられていないか心配だ
12. 学校の勉強について行けるか心配だ
13. 子供の進学や進路が心配だ
14. その他（)
15. 特にない

問 6-2 教育や子育てに関して、相談する相手はいますか。（複数回答可）

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問 6-3 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報が欲しい
2. 子供の遊び相手が欲しい
3. 自分の話し相手や相談相手が欲しい
4. 親同士の交流の機会が欲しい
5. 子供の発育や健康について相談にのって欲しい
6. 保育園や幼稚園の情報が欲しい
7. 保育園や幼稚園に入園できるよう相談にのって欲しい
8. 子供の定期健診などのサービスを受けやすくして欲しい
9. 子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい
10. その他（)
11. 特にない

7 就業・就職について

問 7-1① アンケートを記入されている方の就業形態はどのような状況ですか。

1. 正規雇用・自営業
2. 臨時雇用(フルタイム)
3. 臨時雇用(パートタイム)
4. 無職
5. その他 ()

問 7-1② 問 7-1①で「1. 正規雇用・自営業」「2. 臨時雇用(フルタイム)」「3. 臨時雇用(パートタイム)」「5. その他」と答えた方は、転職を希望していますか。

1. 今の仕事でよい
2. 転職を希望している

問 7-1③ 問 7-1②で「2. 転職を希望している」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 正規雇用の職に就きたい
2. 資格を活かしたい
3. 避難元の県に帰りたい
4. 仕事の環境等が合わない
5. その他 ()

問 7-2 山形県内の就職で困っていることは何ですか。(複数回答可)

1. 仕事に関する情報が少ない
2. 希望する業種・職種の求人が少ない
3. 子供が保育所等に入れなため働けない
4. 希望する時間帯の求人が少ない
5. いつまで現在の生活が続くのか先が見えず、就職に踏み切れない
6. 資格や経験を活かせる仕事が見つからない
7. 住居の近くの求人が少ない
8. 賃金が低い
9. 起業に関する情報が少ない
10. その他 ()
11. 特にない

8 県内で行っている避難者支援について

問 8-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最も当てはまるもの1つを回答）

1. 評価する
2. どちらかといえば評価する
3. どちらかといえば評価しない
4. 評価しない
5. 支援を受けていないので評価できない

問 8-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。

次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○を付け、その評価について、右欄の該当する箇所にも○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ（避難されている皆様へ）				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（冬の山形暮らし、相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ママカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
臨床心理士のカウンセリング				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				
小中学生を対象にした学習支援（寺子屋学習など）				

問 8-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。（複数回答可）

1. 生活情報の提供の充実
2. 就職に関する情報の提供
3. 生活資金についての相談
4. 住宅に関すること
5. 心のケア
6. 健康増進に関すること
7. 子育て・教育に関すること
8. 戸別訪問による相談の充実
9. 避難者同士の交流に関すること
10. 地域住民との交流に関すること
11. 各種イベントへの招待
12. 放射線に関する情報の提供
13. 避難元との交通に関すること
14. 冬の生活に関すること
15. その他（)
16. 特別な支援は必要ない

問 8-4 今後実施してほしい避難者支援事業を御記入願います。

■ 自由記入欄

- ・ 避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ 政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ その他、避難生活で感じていることなど

アンケートにご協力いただきありがとうございました

発行元 山形県

山形県環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局

危機管理課 復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1

電話 023-630-3100